ISSN 0289-8233

植調

第43巻第11号

ヒメミカンソウ（*Phyllanthus matsumurae* Hayata）長さ1mm

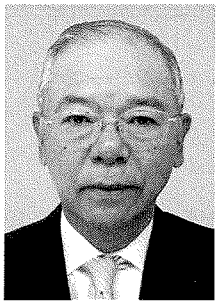
財団法人　日本植物調節剤研究協会編
http://www.japr.or.jp/

より豊かな農業生産のために。
三井化学アグロの除草剤

4月1日
「三共アグロ」から「三井化学アグロ」へ。
社名が変わりました。

クサトリーDX ジャンボH/L 1キロ粒剤75/51 フロアブルH/L
クサトッタ® 粒剤 1キロ粒剤
イネエース® 1キロ粒剤
シング® 乳剤
ザーベックスDX 1キロ粒剤
カービー® 1キロ粒剤
シロノック® 1キロ粒剤 H/Lフロアブル H/Lジャンボ
三共スラッシャ® 粒剤 1キロ粒剤
イネキング® 1キロ粒剤 ジャンボ フロアブル
三共スウィープ® フロアブル
ザーベックスSM 粒剤 1キロ粒剤
ワイドアタックSC
ラクダープロ フロアブル・Lフロアブル 1キロ粒剤75/51
クサカリテイオー® フロアブル・Lフロアブル・1キロ粒剤75/51
サンシャイン 1キロ粒剤・ジャンボ フロアブル
ベクサー® フロアブル 1キロ粒剤
クサファイター® 1キロ粒剤
三共の草枯らし®

三井化学グループ
三井化学アグロ株式会社
東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
ホームページ http://www.mitsui-agro.com/



巻頭言

農薬登録の審査期間の短縮に向けて

三井化学アグロ(株)　代表取締役会長　**窪田隆一**

日本の農薬登録制度は，昭和23年に農薬取締法が制定されたのが端緒です。当時は，一部農薬の品質不良から作物栽培での病害虫防除を担保するための品質適正化が主たる目的でした。ところが昭和40年代にかけて，使用中の事故，農作物，土壌への残留性による環境汚染等が問題になり，昭和46年に法改定されました。この改正で，毒性，残留，有用生物／環境生物影響等々の安全性試験要求の骨格が出来上がったといえるでしょう。

その後，農薬を取り巻く環境変化，欧米での登録制度改正に伴い，試験項目の追加・修正が行われ，さらに現在では，①国際基準に適合した作物残留試験の必要試験数整理，ＧＬＰ化 ②自給飼料作物の安全性確保に伴う家畜代謝試験，残留試験　③子供の感受性・発育に考慮した発達神経毒性試験　等々の導入が検討されています。これにより日本の農薬登録制度において，人の健康影響評価の試験成績としては，欧米並みの世界的レベルにまで到達するといえるでしょう。

それに対して，リスク評価の面では幾分異なった状況にあります。米国では米国環境庁(EPA)が，農業用途を始め，様々な場面に使用する農薬原体について，すべての暴露ルート，暴露量を勘案した上で総合的に審査し，薬剤使用者や消費者に対する許容値／基準値（トレランス）を設定しています。評価期間，審査費用は，新規申請／適用拡大／基準値変更，食用／非食用，インポートトレランス設定等々の具体的申請内容によって，事前に個別提案されています。また，有機リン殺虫剤代替，メチルブロマイド代替等のリスク低減農薬には審査期間短縮等の優先審査が実施されています。マイナー作物についても，IR-4制度等の国家援助を利用するなどの対応があります。

我が国では平成15年の食品安全委員会設立以降は，農林水産省，食品安全委員会，環境省，厚生労働省が別個にそれぞれの分野でリスク評価／管理を実施してきました。平成21年に消費者庁が設立され，リスク管理について新たな関与があると聞いています。さらに審査期間の長期化が懸念されます。もちろん，農薬のリスク評価／管理は，国民の健康保護が大前提であります。私どもは農業生活者の求めるより有効で安全な農薬の研究開発に努めそれを一日も早く上市し農業生産に貢献していく使命があります。又，農薬メーカーはそのために，探索研究から上市までは数十億円の費用と約10年以上の期間をかけて研究開発を行っています。それ故，審査期間の長期化は，企業にとって経営を大きく左右される死活問題であります。

このようなリスク評価の長期化の課題に対しての１つの解決策に，ＯＥＣＤジョイントレビューが注目されつつあります。人への毒性リスク評価は，委員の専門性と長期の審査期間が必要ですが，OECD主要加盟国，例えば欧州各国，米国，オーストラリア，日本等が協力し，役割分担を行い，共通の申請書類（ドシエ）を審査することで，今までのように各国毎に限られたリソースで対応するよりも早期にかつ的確なリスク評価が行えることが可能となります。我が国ではすでに食品安全委員会で受入れされていますが，さらに上手に活用することでより科学的，論理的かつ効率的なリスク評価／管理を短期的に行うことが可能となり，合わせて審査期間の短縮に向けた審査スケジュール管理を期待したいものであります。

目　　次

(第 43 巻 第 11 号)

巻　頭　言

農薬登録の審査期間の短縮に向けて …… 1

<三井化学アグロ(株)　代表取締役会長　窪田隆一>

水稲の登熟期の高温が玄米品質に及ぼす影響

～背白米の発生について～ …… 3

<鹿児島県農業開発総合センター　若松謙一>

植物の枝分かれ抑制ホルモン「ストリゴラクトン」

植物調節剤としての可能性と今後の展開 …… 11

<(独)理化学研究所　植物科学研究センター

促進制御研究チーム　梅原三貴久・山口信次郎>

平成21年度　水稲関係除草剤試験判定結果 …… 19

<(財)日本植物調節剤研究協会>

植物こぼれ話 …… 90

水稲の登熟期の高温が玄米品質に及ぼす影響
～背白米の発生について～

鹿児島県農業開発総合センター　若松謙一

1. はじめに

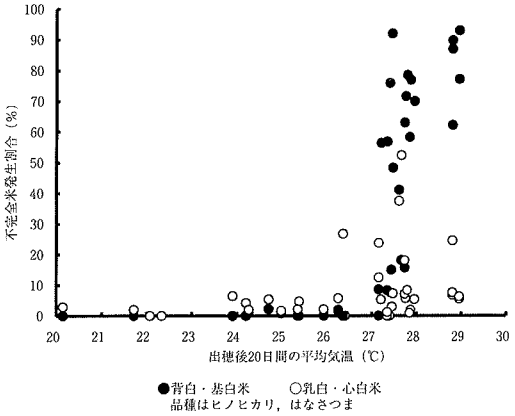
暖地水稲は登熟期に台風被害を受けやすく，特に，主要品種のコシヒカリやヒノヒカリは倒伏に弱いため，乳白米・心白米等の不完全米の発生により玄米品質が不安定である。また近年，九州では１等米比率が低下しており，その要因として温暖化に伴う登熟期間の高温による登熟障害米の発生ならびに早期落水による充実不足粒の増加が指摘されている。さらに南九州では，高温年において背白米や基白米が増える傾向にあり，外観品質の低下と玄米の充実不足による２等以下の格付米が増えており，大きな問題となっている。

そこで本稿では，気象要因と品種間差異，窒素施肥量との関係を解析することによって，登熟期間における高温が玄米外観品質に及ぼす影響について，背白米の発生要因を中心に紹介する。

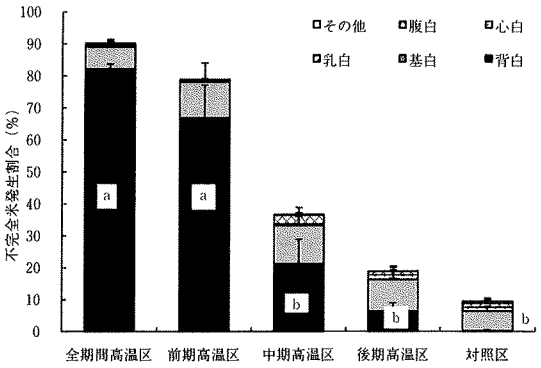
2. 登熟期の気温と不完全米の発生

南九州の早期栽培では，登熟期に当たる７月の高温の影響を受けて背白米の発生がみられ，玄米品質が低下することが報告されてきた[1,2]。しかし近年，植付けの早進化に加えて４～５月が高温で経過する頻度が高くなってきたことから出穂の早まる傾向があり，従前と異なり登熟期間の初・中期の気温が比較的低く推移するため背白米の発生がほとんどみられなくなっている。一方，鹿児島県の普通期栽培面積の約９割を占める主要品種のヒノヒカリではこれまでみられなかった背白米の発生が散見されるようになり，充実不足と併せて品質低下の大きい要因となっている。この背景として，ヒノヒカリが高温条件で背白米・基白米が発生しやすいことや，作期分散を図るため移植時期が早まり，登熟期が高温に遭遇しやすくなっていることが考えられる。乳白米，背白米等を含む不完全米の発生要因はそれぞれ異なり，乳白米や心白米の発生については，気象要因に限れば登熟期の高温条件よりむしろ低日射条件の影響が大きいこと[3,4]，さらに，台風も発生要因であること[5]が報告されている。一方，背白米の発生については登熟期の高温の影響が大きく，その発生程度に品種間差異が認められている[1,6]。このように，高温障害程度を示す指標としては，背白米割合が最適で，背白米の発生が軽微な場合には基白米割合が適当であることが報告されている[6]。

著者らは水稲の登熟期間の高温が玄米品質に及ぼす影響について検討した結果，出穂後20日間の平均気温27℃以上の高温条件で背白米，基白米が発生し，それ以下の温度ではいずれもほとんど発生が認められないことを明らかにした[7](図－1)。但し，背白米は乳白米に比べて粒厚が厚く，タンパク質含有率も低いため，食味低下への影響は乳白米に比べて小さいものと考えられた。



図－1　登熟期の気温と不完全米発生割合の関係（2002～2004年）.



図－2　高温の処理時期が背白米発生割合に及ぼす影響(2006年).

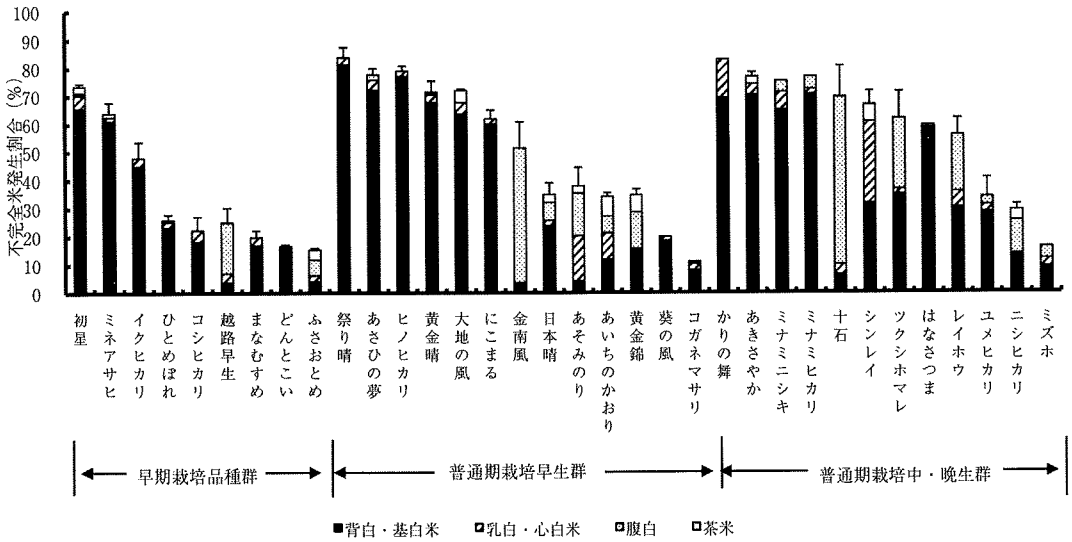
注）人工気象室で高温区：32/26℃，対照区：28/22℃に設定した．処理終了後の9月25日からは湛水条件とし，10月2日に収穫した。背白米の発生割合についてTukeyの多重比較により異なる小文字間に有意差有り。

登熟期における高温の時期別影響は，人工気象室において高温条件の処理時期を変えた結果，前期高温区が全期間高温区同様に背白米の発生が多く，次いで中期高温区が少発生し，後期高温区では発生が極めて少なくなった（図－2)。これらのことから，背白米は登熟期間前・中期，特に前期の高温の影響が大きいことが認められた。高温が登熟に及ぼす影響については，粒重増加速度が低下する低日射条件の場合と異なり，粒重増加速度は促進されるものの比較的早期に同化産物の受入れ能力が減退し，登熟期間が短縮されることが報告されている[9]。このことから，背白米は初期の高温の影響で粒の充実が登熟の早い時期に偏って進行し，穂への同化産物の供給は十分に行われるものの，粒の背側の充実期である登熟後期[10]に同化産物の蓄積が不充分である場合に発生することが考えられる。

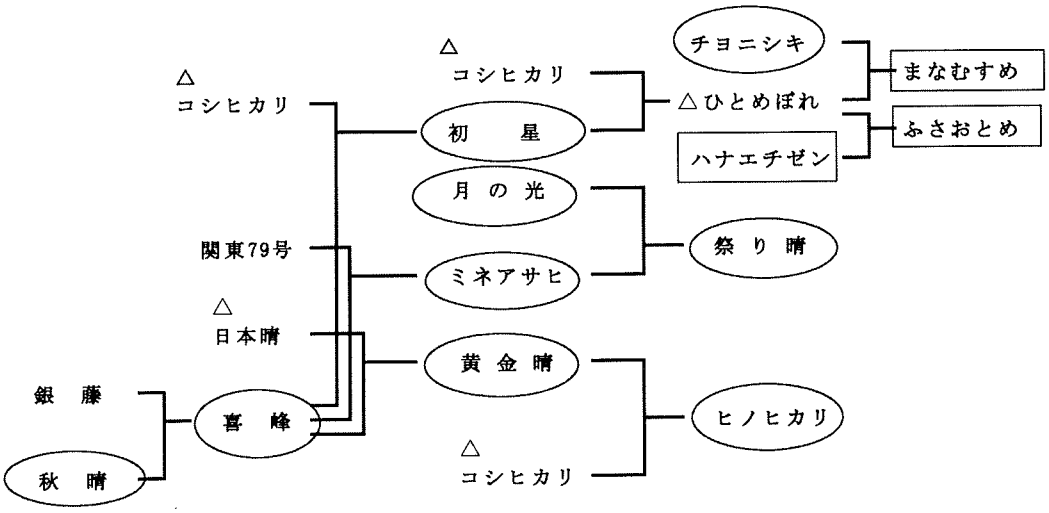
3. 高温登熟性と品種間差異

高温登熟条件下における不完全米発生割合には品種間差異がみられ，その発生様相，程度が異なることが認められた（図－3)。中でも背白・基白米発生割合の品種間の違いが顕著であったが，早期栽培品種に比べて，普通期栽培品種は背白・基白米発生割合の他，乳白・心白米発生割合や腹白米の発生もかなり認められた。このように，普通期栽培品種で不完全米の種類が多くなった一因は，暖地の普通期栽培品種の登熟期間が9月～10月の比較的良好な気象条件にあるために，これまでの育種において早期栽培品種に比べて高温条件や梅雨期の影響下での選抜が加わっていないことによるものかもしれないと考えられた。

熟期の異なる品種群の背白・基白米発生割合について，高温登熟性の強弱を5段階で判定した。その結果，ヒノヒカリを中心にした遺伝的系譜をもとに，高温登熟性を分類したところ（図－4)，背白・基白米の発生割合が最も少ないふさおとめが「強」，ハナエチゼンが「やや強」，コシヒカリが「中」，イクヒカリが「やや弱」，初星，ヒノヒカリが「弱」と判定された。ヒノヒカリは高温登熟性が劣るが，ヒノヒカリの親の黄金晴，黄金晴の親の喜峰，喜峰の親の秋晴はいずれも背白米の発生が著しく,高温登熟性が劣る



図－3　不完全米発生割合の品種間差(2003年).
移植時期に関係なく7月26日～8月10日に出穂期になった品種をグラフに示した.



：弱またはやや弱と判定した品種，□：強またはやや強と判定した品種.
△　：中と判定した品種

図－4　高温登熟性と遺伝的系譜.

ことが認められた。さらに，喜峰／コシヒカリの初星，喜峰／関東79号のミネアサヒはいずれも「弱」品種であり，喜峰に由来する遺伝的形質を継いでいることが推察された。

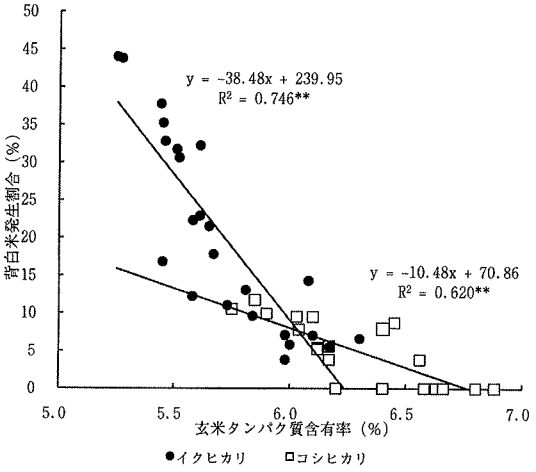
以上のことから，玄米品質における高温登熟性の品種間差異の原因として以下の2点が考えられる。1点目は遺伝的要因で，2点目は高温条件下での玄米品質の選抜効果の要因であり，南九州など暖地で高温登熟性の選抜が加わらない条件下では「弱」品種の遺伝的影響が大きいこ

とが推察された。したがって，高温登熟性の優れる品種との交配に加えて，玄米品質に関して高温条件下での選抜を行うことによって，ヒノヒカリに替わる高温登熟性の優れた良食味品種育成の可能性が示唆された。

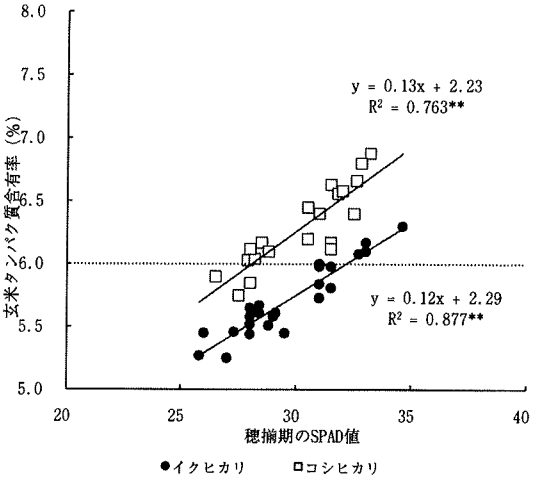
4. 窒素施肥量が玄米窒素量および背白米発生割合に及ぼす影響

玄米外観品質低下の要因としては，1990年代以降の食味重視傾向により，食味が低下する玄米タンパク質7％以上を避けるために窒素施肥量の低下も関与していることが指摘されている[11]。特に，南九州ではヒノヒカリが倒伏に弱い品種であり，地理的に台風被害を受けやすいことから，施肥レベルは全国の中でも低位にある。

窒素施肥量が玄米タンパク質含有率（玄米窒素量）および背白米発生割合に及ぼす影響について検討した結果，窒素施肥量が多くなるにしたがい，穂揃期のSPAD値（葉緑素計値）および玄米タンパク質含有率が高くなり，背白米の発生割合が減少し，玄米タンパク質含有率とSPAD値並びに背白米発生割合との間にそれぞれ高い負の相関関係が認められた（図－5，図－6）。登熟温度28℃以下においては，玄米タンパク質含有率が約6.0％以下になると背白米の発生割合が増加し，その傾向はコシヒカリに比べてイクヒカリで顕著であった。この差の要因として，高温登熟性の違いが考えられた。基肥の増量または追肥によって穂揃期の葉色を高めることが玄米タンパク質含有率向上を促し，さらには背白米発生の抑制につながることが示唆された。このように高温登熟条件下で背白米の発生を抑制するには，肥効調節型肥料の利用など穂揃期以降の葉色を一定レベル以上に維持する必要があると考えられた。一方で，食味については玄米



図－5　玄米タンパク質含有率と背白米発生割合との関係(2004～2005年）．
登熟温度は2004年：イクヒカリ27.0℃，コシヒカリ26.7℃，2005年：両品種ともに27.4℃．



図－6　穂揃期のSPAD値と玄米タンパク質含有率との関係(2004～2005年）．

タンパク質含有率7.0％を超えると食味が低下する[12]ことから，玄米の外観品質と食味の両立を考慮した場合での玄米タンパク質含有率の目標値は，登熟温度28℃以下では6.0～7.0％の間が望ましいと考えられた。

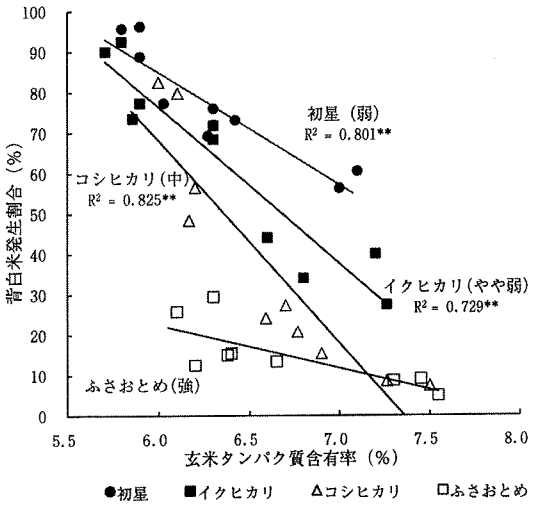
一方で，登熟温度28℃以上の高温登熟条件下において，初星，ヒノヒカリなどの高温登熟性

「弱」品種では，窒素施肥量増加による背白米発生の軽減効果が小さいことが認められ(図－7)，これらの品種では玄米の外観品質と食味を両立させる玄米タンパク質含有率の目標値の設定が困難であると考えられた。「やや弱」品種についても玄米タンパク質含有率7％以下で高品質化は「弱」品種と同様に困難であると考えられた。「中」品種のコシヒカリにおいては，窒素施肥量の増加に伴い，背白米の減少が大きく，玄米タンパク質含有率7％以下で高品質化が可能であると考えられた。「強」品種ふさおとめは，いずれの施肥条件でも他の品種に比べて背白米発生割合が明らかに低かった。したがって，28℃を超える高温条件下では窒素施肥量の増加だけで背白米を軽減することは困難と考えられ，高温登熟性「中」以上の強い品種の導入とともに，その品種に応じた適正施肥量の検討が必要である。

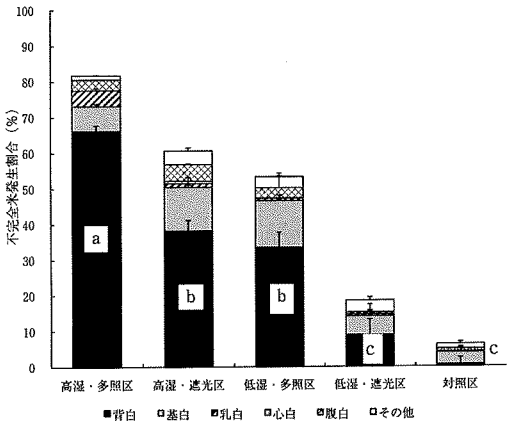
5. 登熟期の日射量および湿度が背白米発生割合に及ぼす影響

高温条件下の日射量の違いが不完全米に及ぼす影響については，背白米は高温条件で多発したが，遮光処理によって減少し，逆に乳白米の増加傾向が認められた。(第3.1図)。乳白米の発生は高温よりむしろ低日射の影響が大きく，さらに籾数が多い場合に助長され，籾間における同化産物の競合が乳白米発生の要因と考えられる。登熟において，高温条件より遮光条件の影響が大きく，穂への同化産物の供給量が抑制されたことが，結果として背白米の発生を抑制し，逆に乳白米の増加につながったと考えられる。

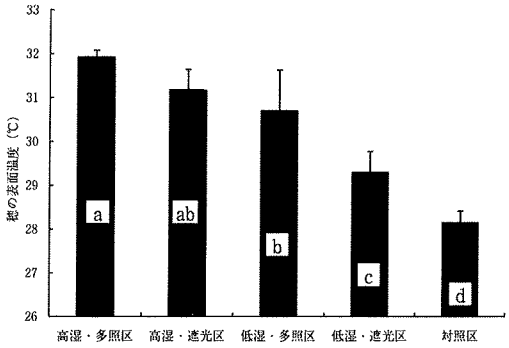
同一の高温条件下における日射量と湿度の違いが背白米発生割合に及ぼす影響については，日射量が多いほど，また湿度が高いほど，背白米発生割合が高くなった(図－8)。これまで不完全米に関与する高温の感受部位については，茎葉ではなく穂であること[13,14]が報告されている。また，同一高温条件下における穂の表面温度は，



図－7　品種別にみた玄米タンパク質含有率と背白米発生割合との関係(2006年).
出穂期は7月16～18日．登熟温度は28.4℃.



図－8　高温条件下における湿度と日射の違いが不完全米発生割合に及ぼす影響.
温度条件は昼温32/夜温26℃．高湿区：相対湿度70%，低湿区：相対湿度35%，多照区：11.4MJm^{-2}day^{-1}，遮光区：多照区の60%に遮光．対照区は28/22℃，相対湿度70%，遮光無し．Tukeyの多重検定により，同じ英小文字間には1%水準で背白米の発生割合に有意差がないことを示す.



図－9　湿度と日射の違いが穂の表面温度に及ぼす影響.
値は放射温度計による穂温の測定値（2007年11月1日 10:00～10:30）. Tukeyの多重検定により，同じ英小文字間には1%水準で有意差がないことを示す.

高湿・多照区が最も高く，次いで高湿・遮光区，低湿・多照区の順で，低湿・遮光区が最も低い値を示し，背白米発生割合もこれと同様の傾向を示した（図－9）。湿度と稲体の表面温度との関係については，湿度が低く大気中の飽差が大きいことで蒸散（潜熱交換）が活発になり，葉面あるいは穂面の表面温度が低くなること[15]が報告されている。このように日射量と湿度は穂の表面温度と密接に関係しており，同じ高温条件下においても高日射や高湿度条件の場合に穂の表面温度が高くなり，結果として背白米発生割合が高まることが明らかとなった。

6. 今後の対策

暖地の早期栽培では，かつては登熟期間が7月の高温・多日射・高湿度条件にあり，背白米の発生がみられ，玄米品質の低下が問題となっていた。しかしながら，1980年代後半以降は植付けの早進化により出穂が6月に早まり，現在では早期栽培での背白米発生はほとんどみられなくなっている。すなわち，登熟期間が梅雨期と重なることから，従前と異なり登熟期間の初・中期の気温および日射量が比較的低く推移するようになったことが背白米の発生が減少した原因と考えられる。一方で，普通期栽培においては，8月下旬に出穂する主要品種ヒノヒカリで，これまで発生がみられなかった背白米が散見されるようになり，品質低下の大きい要因となっている。この背景として，ヒノヒカリの栽培割合が高くなり労力分散を図るため移植時期が早まり，登熟期が高温・多照に遭遇しやすくなっていることが考えられる。このように背白米の発生は，登熟期初・中期の気温のうち，とりわけ初期における高温の影響が大きいため，今後，背白米の発生を軽減することによる品質低下軽減技術としては，登熟期後半の気温が低下する普通期栽培においては，移植時期を遅らせることや晩生品種を導入することが有効であると考えられる。

また，近年は食味重視の観点から，穂肥量についても減らす傾向にあり，以前に比べて総窒素施用量が大きく減少している。このことが，暖地での背白米の発生を助長していると考えられる。この点について，前述のとおり，窒素施肥量を多くすることにより，穂揃期の葉色を高めることが玄米タンパク質含有率の増加を促し，背白米発生の抑制につながることが示された。今後は品質低下軽減対策として，窒素施肥量増加が有効であると考えられる。高品質化を図る観点から，食味低下を招く玄米タンパク質含有率7.0%以上になるのを避けながら，穂揃期以降も一定以上の葉色を維持していく必要がある。そのためには，今後は肥効調節型肥料の穂肥への利用の検討も必要である。

引用文献

1)岩下友記・新屋明・山川恵久・土井修・上原裕美・鳥山国士 1973. 水稲の高温登熟について

－品質の変化と品種間差異－. 日作九支報 39: 48 － 57.

2)安庭誠・江畑正之 1978. 西南暖地における早期水稲の米質に関する研究. 第4報 背白米の特性と発現の穂上位置について. 日作九支報 45:31 － 33.

3)長戸一男・江幡守衛 1959. 心白米に関する研究. 第1報 心白米の発生. 日作紀 27:49 － 51.

4)斉藤満保 1987. 登熟期の遮光程度が水稲の収量と玄米品質に及ぼす影響. 日作東北支報 30: 48 － 49.

5)舩場貢・泉省吾・西村勝久 1992. 長崎県における平成3年大型台風による水稲被害の実態と解析. 第2報 台風17,19号の襲来時生育ステージと品質・収量の被害. 日作九支報 59:6 － 8.

6)長戸一男・江幡守衛 1965. 登熟期の高温が穎花の発育ならびに米質に及ぼす影響. 日作紀 34:59 － 66.

7)若松謙一・佐々木修・上薗一郎・田中明男 2007. 暖地水稲の登熟期間の高温が玄米品質に及ぼす影響. 日作紀 76:71 － 78.

8)江幡守衛ら 1973. 腹白米に関する研究. 第1報 腹白米の発現の品種間差異. 日作紀42:370 － 376.

9)佐藤庚・稲葉健五 1976. 水稲の高温稔実障害に関する研究. 第5報 稔実期の高温による籾の炭水化物受入れ能力の早期減退について 日作紀 45:156 － 161.

10)星川清親 1968. 米の胚乳発達に関する組織形態学的研究. 第11報胚乳組織における澱粉粒の蓄積と発達について. 日作紀 37:207－216.

11)近藤始彦 2007. コメの品質, 食味向上のための窒素管理技術－水稲の高温登熟障害軽減のための栽培技術開発の現状と課題－. 農及園 82:31 － 34.

12)若松謙一・田之頭拓・重水剛・竹牟禮穣 2004. 鹿児島県早期栽培コシヒカリの収量構成要素および食味に及ぼす栽植密度の影響. 日作九支報 70:7 － 9.

13)森田敏・白土宏之・高橋純一・藤田耕之輔 2004. 高温が水稲の登熟に及ぼす影響－穂・茎葉別の高夜温・高昼温処理による解析－. 日作紀 73:77 － 83.

14)佐藤庚・稲葉健五 1973. 水稲の高温稔実障害に関する研究. 第2報 穂と茎葉を別々の温度環境下においた場合の稔実. 日作紀 42:214 － 219.

15)丸山篤志・石井健太郎・大場和彦・脇山恭行 2007. 登熟期における湿度の違いが水稲の白未熟粒発生に及ぼす影響. 九州の農業気象 16: 52 － 53.

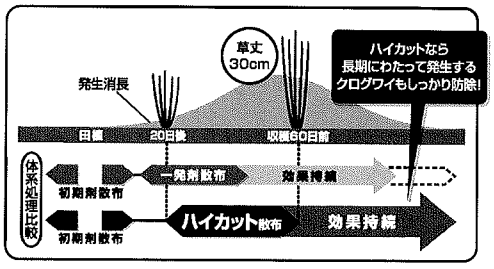
クログワイの悩み、スパッと解決。

クログワイ
学名:*Eleocharis kuroguwai* Ohwi
多数の芽を持つ塊茎を、土中深くに形成し、4～5年の寿命を持ちます。水田に水を入れた時から収穫時までダラダラと出芽する生態が、防除を困難にしている大きな要因です。

適用拡大でさらに使いやすく!
初期剤との体系で、クログワイもしっかり防除。
一発剤よりも遅い時期の散布で、徹底的にたたきます。

水稲用除草剤
ハイカット®
1キロ粒剤
●ノビエの3.5葉期まで防除
●SU抵抗性雑草にも有効 ●難防除雑草に卓効

[クログワイ防除の体系処理比較]



®は日産化学工業(株)の登録商標

日産化学工業株式会社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-1(興和一橋ビル) TEL 03(3296)8141 http://www.nissan-agro.net/

植物の枝分かれ抑制ホルモン「ストリゴラクトン」
植物調節剤としての可能性と今後の展開

(独)理化学研究所　植物科学研究センター
促進制御研究チーム　梅原三貴久・山口信次郎

はじめに

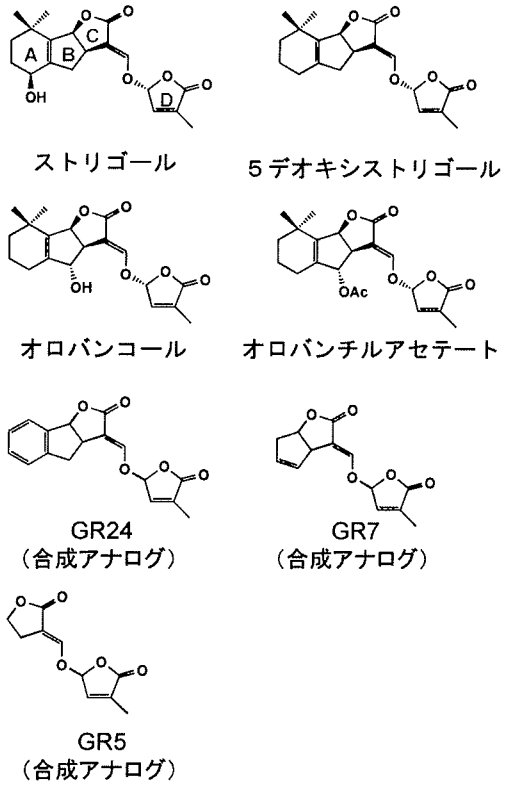
植物の枝分かれは，地上部の形態を決める重要な要因のひとつであり，最終的には花，果実，種子の数や質に影響することから，農業や園芸の分野において重要な形質である。とは言え，単純に枝分かれを増やそうとすれば，果実や種子の数は増えるかもしれないが，個々の品質は低下する。逆に，枝分かれを少なくしすぎると，それは収量の低下につながる。したがって，枝分かれの数は，いちがいに多ければよい，あるいは少なければよいというものではない。植物の枝分かれの数は，光，重力，栄養などさまざまな環境要因の影響を受けることから，植物はそうした自然環境の変化を認識し，その環境に適した枝分かれの数になるように調節している。それでは，どのようにして植物の枝分かれが起こるのか？

枝分かれが増えるためには，まず葉の付け根に腋芽の原基が作られる。腋芽はしばらく休眠した状態を維持するが，一定の生育段階に到達するあるいは一定の環境条件が整うと，休眠中の腋芽が伸長を開始し，それが枝となる。腋芽が休眠から解放されて伸長するかどうか，その制御には植物ホルモンが深く関与している。植物ホルモンとは，植物体内で生産され，きわめて微量で作用して一定の変化を与える化学物質の総称で，さまざまな植物で普遍的に存在する。植物の枝分かれにおいては，主にオーキシンとサイトカイニンという２種類の植物ホルモンによって制御されると古くから考えられてきた。

植物の一番上に位置する芽を頂芽と呼ぶ。通常，頂芽が生長しているときは，腋芽は休眠状態にあり，これを「頂芽優勢」という[1]。頂芽を除去すると「頂芽優勢」が機能しなくなり，頂芽のすぐ下の腋芽が生長を開始する。この現象は，頂芽を切り取った後の切り口にオーキシンを処理することで回避でき，頂芽がなくても腋芽の伸長は抑制される。ただし，頂芽で作られたオーキシンは休眠中の腋芽に移動せず，また頂芽を除去した後の腋芽にオーキシンを直接与えても休眠は維持できない。したがって，オーキシンは腋芽に直接作用するのではなく，頂芽で合成されたこのホルモンの上から下への移動が間接的に腋芽伸長を抑制すると考えられている。これに対して，サイトカイニンを直接腋芽に処理すると，頂芽が存在していても腋芽が伸長する。

ところが，1990年半ば以降，シロイヌナズナ，エンドウ，イネ，ペチュニアの「枝分かれ過剰突然変異体」の遺伝学的な解析から，植物の枝分かれを抑制する第３のホルモンの存在が示唆されていた[2]。しばらくその実体は不明であったが，現在ではその有力な候補としてストリゴラクトンと呼ばれる４つの環構造をもった

低分子性の有機化合物が注目されている（図－1）。

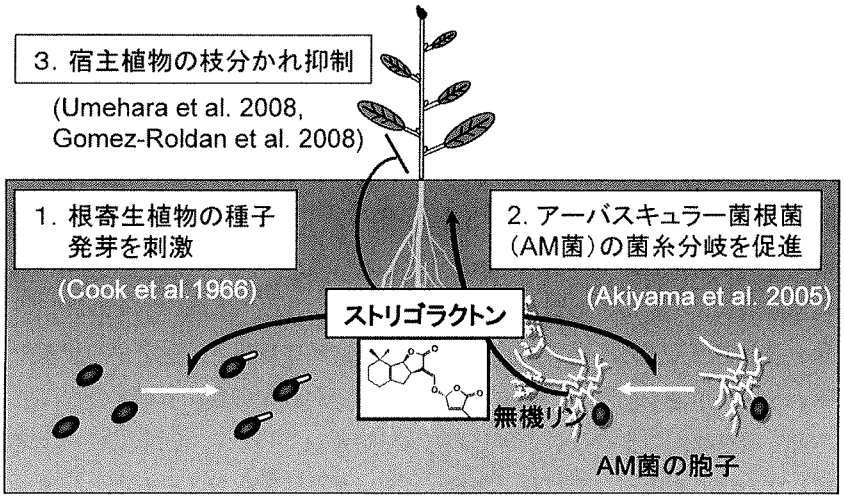


図－1　代表的な天然型および合成ストリゴラクトンの化学構造

1. 根圏シグナル物質として知られていたストリゴラクトン

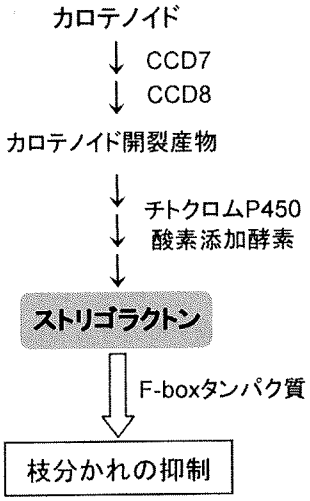
ストリゴラクトンは，実は根圏におけるシグナル物質としてよく知られていた（図－2）。ハマウツボ科（Orobanchaceae）に属するストライガ（*Striga*）やオロバンキ（*Orobanche*）といった根寄生雑草の種子発芽を刺激する物質としてはじめて単離された。ストリゴール（図－1）がワタの根浸出液から発見されて以降[3]，さまざまな植物でストリゴラクトンが生産されていることが明らかにされた。ストライガやオロバンキの種子は，地中で宿主植物の存在を待ち続け，宿主植物の根から分泌されるストリゴラクトンを感知して発芽してその根に寄生する[4]。寄生された宿主植物は，栄養や水分を奪われて著しく生育が阻害される。しかし，なぜ宿主植物は根寄生雑草による寄生の危険を冒してまでストリゴラクトンを分泌するのか，その理由を説明することができなかった。

その後，Akiyamaらによって，ストリゴラクトンがアーバスキュラー菌根菌（AM菌）の菌



図－2　これまでに明らかとなっているストリゴラクトンの生理作用

糸分岐を促進し，AM菌を活性化させるシグナルとして機能していることが明らかにされた[5]。AM菌は，宿主植物へ無機栄養や水分を供給し，自身は糖などのエネルギー源を宿主植物に依存している共生菌として知られている。したがって，宿主植物はAM菌との共生関係を強固なものとするために分泌しており，根寄生雑草は分泌されたストリゴラクトンを宿主探索シグナルとして利用していると言える。ところが，AM菌と共生しない植物もストリゴラクトンを生産していることが最近明らかとなった。このことは，ストリゴラクトンが宿主植物においてさまざまな植物で共通した未知の生理的な役割を担っている可能性を示唆していた。



図－3　ストリゴラクトンの推定生合成経路
ストリゴラクトンは、カロテノイドが酸化開裂および酸素添加反応を経て合成され、その受容・伝達にはF-boxタンパク質が関与する。CCD：カロテノイド酸化開裂酵素（carotenoid cleavage dioxygenase）

2.　枝分かれ抑制ホルモンとしてのストリゴラクトン

2008年，著者らの研究グループとフランスの研究グループによって，ストリゴラクトンが枝分かれを抑制する作用をもつことが報告された[6,7]。本研究における遺伝学的な背景や化合物同定に至る過程については，別の解説論文で詳細に書かれているので[8,9]，ここではストリゴラクトンの分析と生物活性検定法について紹介する。

両グループは，いずれも「枝分かれ過剰突然変異体」を生物活性検定に用い，ストリゴラクトンの生産量がごく微量であることから質量分析計（LC/MS-MS）を用いて分析した。この分析機器は，極めて高感度・高分解能で，pgのオーダーの既知物質を定性・定量分析することが可能である。この分析機器を用いて，フランスの研究グループは，エンドウを実験材料に用いて解析を行っており，主要な内生のストリゴラクトンとしてオロバンチルアセテート（図－1）を同定した。一方，我々のグループはイネを中心に用いて解析しており，5デオキシストリゴール（図－1）の立体異性体を同定した。ストリゴラクトンはカロテノイドが酸化開裂して合成されると考えられている（図－3）。どちらのグループも野生型に比べて，カロテノイド酸化開裂酵素（carotenoid cleavage dioxygenase, CCD）のうち，CCD7あるいはCCD8に欠損をもつ「枝分かれ過剰突然変異体」では，ストリゴラクトンの生産量が極めて少ないことを示した。したがって，CCD7およびCCD8欠損変異体は，ストリゴラクトンを合成できない変異体でもあると言える。

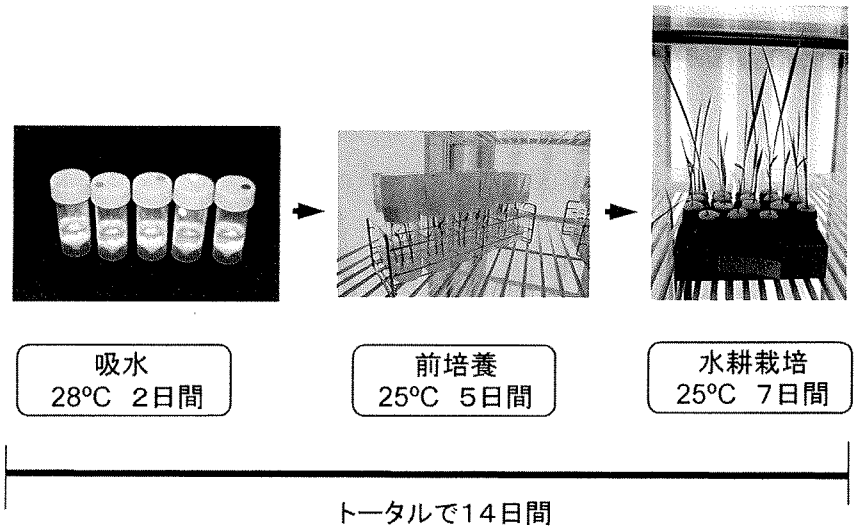
また，これらの変異体にストリゴラクトンを与えると，過剰な枝分かれが抑えられる。さらに，シロイヌナズナの「枝分かれ過剰突然変異体」の解析から，ストリゴラクトンの生合成にはCCD7やCCD8だけでなく，チトクロムP450酸素添加酵素も関与することが知られており

(図－3)，この酵素が欠損した変異体にストリゴラクトンを処理すると，やはり過剰な枝分かれが抑制される。一方，F-boxタンパク質が欠損した「枝分かれ過剰突然変異体」は，ストリゴラクトンを処理しても腋芽を抑制することはできない。したがって，この変異体はストリゴラクトンのシグナルを認識できないために過剰な枝分かれを形成すると考えられる。

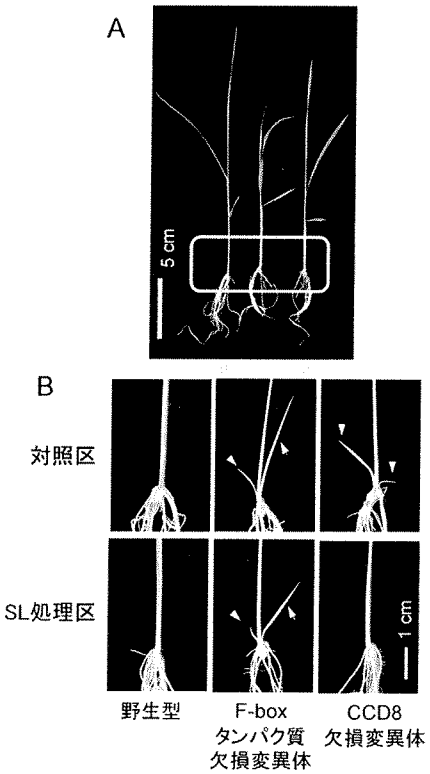
3. イネの「枝分かれ過剰突然変異体」を用いた生物活性検定法

実際，どのような生物検定法を行ったのかについて，もう少し詳しく紹介する。通常，植物の枝分かれは，生育段階初期ではほとんど起こらない。そのため，なるべく早く枝分かれを観察でき，簡便な実験系を立ち上げることが重要である。著者らの研究室では，イネの「枝分かれ過剰突然変異体」を用いたストリゴラクトンの生物活性検定法を確立した[7]。

まず，枝分かれ抑制活性検定法の概略を説明する（図－4)。イネの野生型および「枝分かれ過剰突然変異体」の種子を滅菌して2日間28℃で吸水させる。発芽した種子を寒天で固めた培地（水耕栽培で用いた水耕液と同じ組成）に埋め込み，5日間25℃で前培養する。その後，健全に生育した幼苗にスポンジを巻き付けて，13 mlの水耕液を入れた褐色のバイアル瓶に差し込み，7日間25℃で水耕栽培する。ストリゴラクトンは水耕栽培時の水耕液に添加している。1回のアッセイでだいたい14日を要する。このアッセイの利点は，1）ストリゴラクトンが合成できない変異体（CCD7あるいはCCD8欠損変異体）を使うことで，ストリゴラクトンに対する感度が高い実験系となっていること，2）枝分かれが起こらない野生型，ストリゴラクトン非感受性の変異体（F-boxタンパク質欠損変異体）をそれぞれネガティブコントロール，ポジティブコントロールとして用いることによって，非特異的な枝分かれ抑制を排除して評価できることである。実際にイネにおけるストリゴラクトンの枝分かれ抑制作用を示した例を図－5に示す。ストリゴラクトンの処理によっ



図－4 イネを用いたストリゴラクトンの枝分かれ抑制検定法



図－5　ストリゴラクトン（SL）の枝分かれ抑制作用

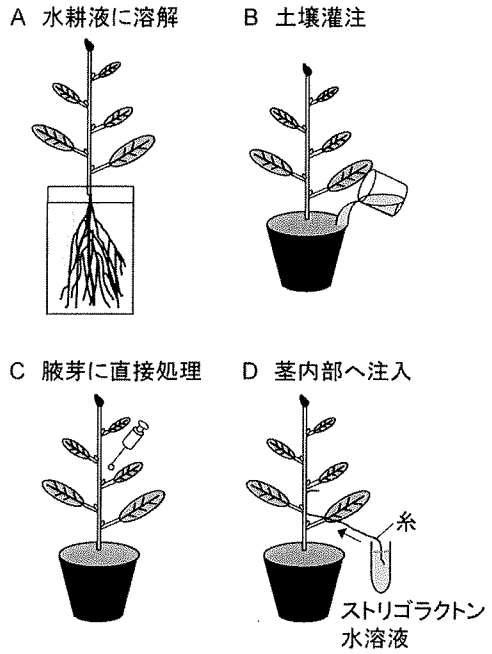
(A) 図－3の方法で栽培した実際のイネの幼苗。左から、発芽後2週間目の野生型、F-boxタンパク質欠損変異体、CCD8欠損変異体。(B) (A) の白枠で囲った部分を拡大。通常のイネでは枝分かれ（白矢印）が起こらないが、枝分かれ過剰突然変異体では枝分かれが観察される。このうち、CCD8が欠損した変異体では、SLを処理することによって枝分かれを抑制することができる。

て，CCD8欠損変異体の枝分かれは抑えられるが，F-boxタンパク質欠損変異体の枝分かれは抑えられない。

ストリゴラクトンの処理方法としては，水耕栽培で根から吸わせる以外もいくつか考えられる（図－6）。土耕栽培で生育させている植物にストリゴラクトン水溶液を土壌灌注で投与しても枝分かれを抑制することが可能である(unpublished data)。ただし，水耕栽培に比べて活性が10～100倍低下するので，土壌中での物理的安定性，土壌細菌による分解などの懸念がある。また，フランスのグループは，腋芽に直接ストリゴラクトン水溶液を塗布したり，ストリゴラクトン水溶液に浸した糸を茎内部に通し，直接植物体内に入るような処理も行っている[6]。

4. ストリゴラクトンの植物調節剤としての応用

ストリゴラクトンを植物の生長調節剤として利用できないだろうか？植物の枝分かれは，冒頭に挙げたように農業や園芸の分野では重要な形質であり，作物の生産性，栽培作業の効率，園芸作物の観賞価値などに影響する。我々の結果では，ストリゴラクトン欠損変異体だけでなく，野生型植物においてもストリゴラクトンを高濃度で処理し続けると，枝分かれが抑制される。このときストリゴラクトンは，葉や根の伸長には見かけ上大きな影響はなく，特異的に枝分か



図－6　ストリゴラクトンの処理方法（実例）

れを抑制した。したがって，ストリゴラクトンは腋芽伸長を抑制する新たな植物の生長調節剤としての利用が期待できる。腋芽伸長抑制剤は，従来オーキシンに関連するものが多かった。しかしながら，オーキシンは植物の生育段階のさまざまな部分で重要な役割を果たしており，長期間の投与は植物の生育に影響を及ぼす可能性がある。タバコの腋芽抑制には，マレイン酸ヒドラジド（MH）がよく使われていた[10]。MH自体の毒性は低いが，分解産物のヒドラジンが発ガン性を示すことから，現在は利用が規制されている。こうしたことから，環境にやさしくて選択的に機能する新たな腋芽抑制剤が求められていた。タバコの他にも，ナス科の植物ではトマトやナス，花きでは輪ギクの栽培において腋芽を抑制することが好まれる。腋芽の除去は人力に頼るところが大きく，ストリゴラクトンの使用が実用化できれば，農作業の省力化につながるものと期待できる。

現在，ストリゴラクトンの研究現場では，合成アナログ化合物のGR24（図－1）がよく用いられているが，植物調節剤への利用に関しては，四環型ストリゴラクトンのGR24や天然体型ストリゴラクトンをそのまま利用することは難しいだろう。これらの化合物の利用は，化学合成には何段階もの反応が必要であるため，コストと手間がかかるからである。根寄生植物の種子発芽刺激活性におけるストリゴラクトンの構造要求性がよく調べられている。GR7やGR5のような簡単な化合物（図－1）でも，GR24のような四環型ストリゴラクトンに比較すると活性は弱いが，発芽刺激活性を示すことがわかっている。また，GR7やGR5は根寄生植物以外にカラスムギやレタスの種子発芽を促進し，その活性はGR24よりも強いことが報告されている[11,12]。さらに，ストリゴラクトンにおける活性で重要な部分はC環とD環をつなぐ部分（この部分をエノールエーテルと言う）だと言われており，実際，図－1に挙げたストリゴラクトンを見比べてみると，C環とD環をつなぐ部分は共通のパーツだと言える。まずは，さまざまなストリゴラクトン類縁化合物の構造要求性を詳細に調査してストリゴラクトンの活性に必要な部位を特定し，より簡易な構造の活性型化合物を見出すことで合成のコストを下げることが必要である。GR5のような簡易合成が可能なストリゴラクトンに十分な活性があれば，将来多量に合成して大型の実用作物での試験も可能となるだろう。

5. 今後の研究展開

ストリゴラクトンを植物の生長調節剤という観点で見た場合，課題のひとつは，被検体植物の種類がまだ少ないことである。イネ，エンドウ，シロイヌナズナに投与した結果はすでに報告されているが，他の実用作物でも枝分かれ抑制作用を示すかどうかはまだわからない。もうひとつはストリゴラクトン生合成阻害剤の開発である。ストリゴラクトンを投与してその効果が持続すれば，植物の枝分かれを抑制することは可能である。しかしながら，実用作物における枝分かれの制御は，植物種によって異なると考えられる。花や果実を増やして総収量を増加させるために，枝分かれが多い状態を望む場合もあるだろう。植物調節剤においては，ジベレリンのように，ジベレリンそのものを溶液で投与する場合と，ジベレリンの生合成阻害剤であるウニコナゾールやパクロブトラゾールを与えて植物体内の内生ジベレリンレベルを抑える場合がある。枝分かれに関しても，ストリゴラク

トンの生合成阻害剤が必要であると考える。最近，CCDを標的とした阻害剤の開発例が報告されている[13]。しかしながら，その効力に関しては，その特異性や枝分かれの増え方が弱いことから，まだ改良の余地があると見ている。また，CCDに限らず，チトクロムP450を標的とした阻害剤も開発されるかもしれない。近い将来，ストリゴラクトンあるいはその生合成阻害剤が植物調節剤としての地位を獲得し，多くの人が気軽に利用できる日が到来すると信じている。

引用文献

1) 森仁志. 2007. 頂芽優勢. 植物ホルモンの分子細胞生物学（小柴共一・神谷勇治・勝見允之・編）講談社 p. 170-179

2) Ongaro, V. and O. Leyser 2008. Hormonal control of shoot branching. *J. Exp. Bot.*, 59: 67-74

3) Cook, C. E., L. P. Whichard, B. Turner, M. E. Wall and G. H. Egley 1966. Germination of witchweed (*Striga lutea* Lour.): Isolation and properties of a potent stimulant. *Science*, 154: 1189-1190

4) 竹内安智. 2009. 根寄生雑草の生理生態と制御. 植調, 43: 3-12

5) Akiyama, K., K. Matsuzaki and H. Hayashi 2005. Plant sesquiterpenes induce hyphal branching in arbuscular mycorrhizal fungi. *Nature*, 435: 824-827

6) Gomez-Roldan, V., S. Fermas, P. B. Brewer, V. Puech-Pages, E. A. Dun, J. P. Pillot, F. Letisse, R. Matusova, S. Danoun, J. C. Portais, H. Bouwmeester, G. Becard, C. A. Beveridge, C. Rameau and S. F. Rochange 2008. Strigolactone inhibition of shoot branching. *Nature*, 455: 189-194

7) Umehara, M., A. Hanada, S. Yoshida, K. Akiyama, T. Arite, N. Takeda-Kamiya, H. Magome, Y. Kamiya, K. Shirasu, K. Yoneyama, J. Kyozuka and S. Yamaguchi 2008. Inhibition of shoot branching by new terpenoid plant hormones. *Nature*, 455: 195-200

8) 梅原三貴久・山口信次郎. 2009. 植物の枝分かれ抑制ホルモンの発見. 化学と生物, 47: 678-683

9) 山口信次郎. 2009. 植物の枝分かれを制御するカロテノイド由来の新しいホルモン：ストリゴラクトン. 蛋白質 核酸 酵素, 54:1197-1202

10) 日本ヒドラジン工業株式会社開発部. 1987. マレイン酸ヒドラジドコリンの毒性試験の概要. 日本農薬学会誌, 12: 771-774

11) Bradow, J. M., W. J. Connick and A. B. Pepperman 1988. Comparison of the seed germination effects of synthetic analogs of strigol, gibberellic acid, cytokinins and other plant growth regulators. *J. Plant Growth Regul.*, 7: 227-239

12) Bradow, J. M., W. J. Connick Jr, A. B. Pepperman and L. H. Wartelle 1990. Germination stimulation in wild oats (*Avena fatua* L.) by synthetic strigol analogues and gibberellic acid. *J. Plant Growth Regul.*, 9: 35-41

13) Sergeant, M. J., J. J. Li, C. Fox, N. Brookbank, D. Rea, T. D. H. Bugg and A. J. Thompson 2009. Selective Inhibition of Carotenoid Cleavage Dioxygenases PHENOTYPIC EFFECTS ON SHOOT BRANCHING. *J. Biol. Chem.*, 284: 5257-5264

SU抵抗性雑草防除の切り札!!

水稲用一発処理除草剤

ホームランキング®

一発ですべてを叩く!　一振りですべてを叩く!　パックですべてを叩く!

1キロ粒剤75/1キロ粒剤51　フロアブル/Lフロアブル　ジャンボ/Lジャンボ

SU抵抗性雑草防除はおまかせ!!

水稲用一発処理除草剤

ゴウワン®

一発ですべてを叩く!　一振りですべてを叩く!　パックですべてを叩く!

1キロ粒剤75/1キロ粒剤51　フロアブル/Lフロアブル　ジャンボ/Lジャンボ

「低コスト」「省力」「安全」ニーズに応えるホームラン剤　MY-100（ボキマリクロメボン）

●ノビエ2.5葉期まで効果がある（ジャンボ剤は2葉期まで）　●ノビエに対する効果がながーく続く　●稲への安全性が高い

JAグループ　農協 | 全農 | 経済連

全農は登録在庫　第4702316号

北興化学工業株式会社

〒103-8341 東京都中央区日本橋本石町4-4-20

ホームページアドレス http://www.hokkochem.co.jp/

®は北興化学工業（株）の登録商標

石原の水稲除草剤

●非SU系　水稲用一発処理除草剤
トビキリ手軽で、トビキリ広がる。
トビキリ効くのは
トビキリ®ジャンボ　新発売

●水田初期除草剤
抵抗性ホタルイ防除に!
ワンベスト®フロアブル

●水田一発処理除草剤
抵抗性雑草、イボクサにも
ビッグな手応え!
ワンオールS®1キロ粒剤

●水田一発処理除草剤
これぞ王様のフロアブル
キングダム®Lフロアブル

●水田後期除草剤
難防除多年生雑草に
グラスジン®M ナトリウム液剤/粒剤

●安心、実績の水田後期除草剤
2,4-D剤/MCP剤

ラベルを守って正しく使用しましょう!
適用作物、薬量（稀釈倍数）、使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします

ISK　石原産業株式会社
石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番30号

ホームページアドレス http://www.iskweb.co.jp/ibj/

平成２１年度　水稲作関係除草剤試験判定結果

財団法人　日本植物調節剤研究協会

平成２１年度水稲作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成２１年１２月１０日、１１日の２日間、浅草ビューホテルおいて、適１試験成績検討会は、これに先立ち平成２１年１０月１４日　ホテルラングウッドにて開催された。ここに、これら検討会における判定結果を報告する。

１）第一次適用性試験（適１）は、北海道地域（植調北海道試験地）、東北地域（植調古川試験地）、北陸地域（植調新潟試験地）、関東地域（植調研究所）、近畿・中国・四国地域（植調滋賀試験地）、九州地域（植調福岡試験地）の全国６地域および砂壌土（植調霞ヶ浦試験地）で２４薬剤（のべ１３６点）について実施した。その判定結果は、第２表のとおりである。

２）第二次適用性試験（適２）は、のべ２，３２４剤（総点数点）であり、その内訳を第１表にまとめた。これら適２の判定結果は第３表のとおりであり、「実・継」と判定された薬剤の使用基準を後に掲載した。

第1表　平成21年度適2試験実施点数

A-1 移植栽培(一発処理)	141 剤	1,390 点	A-4 特殊雑草対象　内訳		
A-2 移植栽培(体系処理:初期)	13 剤	100 点	エゾノサヤヌカグサ	20 剤	20 点
A-3 移植栽培(体系処理:中後期)	15 剤	88 点	オモダカ	76 剤	260 点
A-4 移植栽培(特殊雑草対象)	のべ 269 剤	616 点	キシュウスズメノヒエ	1 剤	1 点
B　直播栽培	44 剤	130 点	クサネム	3 剤	6 点
			クログワイ	73 剤	199 点
			コウキヤガラ	44 剤	78 点
			シズイ	20 剤	20 点
			ミズアオイ	19 剤	19 点
			SU 抵抗性コナギ	3 剤	3 点
			SU 抵抗性ホタルイ	10 剤	10 点

第2表　平成21年度 水稲関係除草剤適1試験 成績判定結果一覧

注)総合評価欄、中央判定欄の記号については、◎:極めて有望、○:有望、□:可能性有り、△:再検討、×:見込みなし を表す

No.	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	実施場所別総合評価 北海道	古川	新潟	植調研	滋賀	福岡	霞ヶ浦(砂)	中央判定 [今後の検討課題]
1	KUH-091-1kg 粒 [クミ化]	既知化合物A:0.67% 既知化合物B:2.0%	○	○	○	□	◎	△	□	□ 一発処理 [ノビエに対する効果の確認]
2	KYH-0901 フロアブル [協友アグリ]	イマゾスルフロン:1.8% オキサジクロメホン:0.6% ピラクロニル:4.0% ブロモブチド:18.0% (w/v)			◎	○	◎	□	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
3	NC-609 ジャンボ [日産]	ピラクロニル:5% ピラゾスルフロンエチル:0.75% プタクロール:18.75% ベンゾビシクロン:5%	○	○	○	○	◎	△	□	○ 一発処理 [年次変動の確認]
4	NC-626-1kg 粒 [日産]	オキサジクロメホン:0.4% ピラゾスルフロンエチル:0.3% ピラクロニル:2% ベンゾビシクロン:2%	○	○	○	□	◎	□	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
5	S-9058 フロアブル [住友化学]	プロピリスルフロン (TH-547):1.8% ブロモブチド:18%(w/v)	○	○	◎	◎	◎	○	◎	○ 一発処理 [年次変動の確認]
6	S-9058-1kg 粒 [住友化学]	プロピリスルフロン (TH-547):0.9% ブロモブチド:9.0%	○	○	◎	◎	◎	○	◎	○ 一発処理 [年次変動の確認]
7	S-9102 粒 [住友化学]	イマゾスルフロン:0.3% カフェンストロール:0.7% ダイムロン:1.7% ブロモブチド:3% カルタップ(殺虫剤):5.3%				◎	○	○	◎	○ 一発処理 [年次変動の確認]
8	S-9311-1kg 粒 [住友化学]	既知化合物A:0.9% 既知化合物B:15.0%	○	○	○	○	○	○	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
9	SB-531 フロアブル [SDS]	既知化合物A:4.0% ベンゾビシクロン:4.0%(w/v)	□	□	□	○	◎	○	□	□ 一発処理 [ノビエに対する効果の確認]
10	SB-531 フロアブル (少量散布) [SDS]	既知化合物A:4.0% ベンゾビシクロン:4.0%(w/v)	□	○	□	○	○	○	○	○ 体系処理(初期) [年次変動の確認]
11	SB-596 フロアブル [SDS]	既知化合物A:2.4% 既知化合物B:3.0% 既知化合物C:6.0%(w/v)	○	□	○	○	◎	○	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
12	SB-596-1kg 粒 [SDS]	既知化合物A:1.2% 既知化合物B:1.5% 既知化合物C:3.0%	○	□	○	○	◎	○	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]

No.	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	実施場所別総合評価 北海道	古川	新潟	植調研	滋賀	福岡	霞ヶ浦(砂)	中央判定 [今後の検討課題]
13	SL-0601(RC)-0.5kg 粒 (全面散布) [石原]	カルフェントラゾンエチル:1.8% フルセトスルフロン:0.44%		□	○				□	□ 一発処理 [ノビエ、ホタルイに対する効果の確認]
14	SL-0701(RC)-0.5kg 粒 (全面散布) [石原]	フルセトスルフロン:0.44% カフェンストロール:4.2% カルフェントラゾンエチル:1.8% ベンゾビシクロン:4.0%		□	□				□	□ 一発処理 [ミズガヤツリに対する効果の確認]
15	SL-4901-1kg 粒 [石原]	ピラゾキシフェン:10% ベンゾビシクロン:2.0%				○	◎			○ 体系処理(初期) [年次変動の確認]
16	SW-091-1kg 粒 [*三井化学アグロ, 科研]	ピラゾレート:12.0% ベンゾビシクロン:2.0% ペントキサゾン:3.6%	□	□	△	□	◎	□	△	□ 一発処理 [ノビエに対する効果の確認]
17	SYJ-156H ジャンボ [シンジェンタ]	ピリフタリド:3.0% プレチラクロール:9.0% ベンスルフロンメチル:1.5% メソトリオン:1.8%	○	□						□ 一発処理 [効果・薬害の確認]
18	SYJ-156H-1kg 粒 [シンジェンタ]	ピリフタリド:1.5% プレチラクロール:4.5% ベンスルフロンメチル:0.75% メソトリオン:0.9%	□	□						□ 一発処理 [効果の確認]
19	SYJ-157H ジャンボ [シンジェンタ]	ピリフタリド:3.0% プレチラクロール:9.0% ベンスルフロンメチル:1.02% メソトリオン:1.8%			○	□	◎	□	□	□ 一発処理 [効果・薬害の確認]
20	SYJ-157H-1kg 粒 [シンジェンタ]	ピリフタリド:1.5% プレチラクロール:4.5% ベンスルフロンメチル:0.51% メソトリオン:0.9%			○	○	◎	□	□	□ 一発処理 [効果の確認]
21	SYJ-167H-1kg 粒 [シンジェンタ]	プレチラクロール:4.5% メソトリオン:0.9%	□	○	△	△	◎	□	△	□ 一発処理 [効果の確認]
22	SYJ-222-1kg 粒 [シンジェンタ]	既知化合物A:2.4% 既知化合物B:0.9% 既知化合物C:0.8%	□	□	○	○	○	○	□	○ 一発処理 [年次変動の確認]
23	HOK-0901 フロアブル [北興]	ペントキサゾン:5%(w/v)	□	□	△	□	□	□	□	□ 体系処理(初期) [効果の確認]
24	HOK-0901-1kg 粒 [北興]	ペントキサゾン:2.5%	□	□	△	□	△	□	□	□ 体系処理(初期) [効果の確認]

第3表 平成21年度 水稲関係除草剤適2試験判定結果一覧

区 分	実・継		継	
A-1 一発処理	* BAH-041-1kg 粒	BCH-031-1kg 粒	HOK-0801S-1kg 粒	KUH-072D ジャンボ
	BCH-032-1kg 粒	BCH-033-1kg 粒	KUH-072K ジャンボ	KUH-091-1kg 粒
	BCH-044-1kg 粒	BCH-051 ジャンボ	KYH-0901 フロアブル	NC-609 ジャンボ
	BCH-051 フロアブル	BCH-052 フロアブル	NC-626-1kg 粒	S-9058 ジャンボ
	BCH-053 フロアブル	BCH-062 ジャンボ	S-9058 フロアブル	S-9058-1kg 粒
	BCH-063 ジャンボ	BCH-065L フロアブル	S-9102 粒	S-9311-1kg 粒
	* BCH-085L-1kg 粒	DPX-84ND(L) 粒	S-9421 ジャンボ	SB-531 フロアブル
	HOK-0301 フロアブル	HOK-0401(L) フロアブル	SB-596 フロアブル	SB-596-1kg 粒
	HOK-0605 ジャンボ	HOK-0605 フロアブル	SL-0601(RC)-0.5kg 粒(全面散布)	SL-0701(RC)-0.5kg 粒(全面散布)
	HOK-0605(L) フロアブル	HOK-0605(L)-1kg 粒	SW-064-1kg 粒	SW-091-1kg 粒
	HOK-0605-1kg 粒	HOK-0605S-1kg 粒	SYJ-156H ジャンボ	SYJ-156H-1kg 粒
	HOK-0611-1kg 粒	* HOK-0801 ジャンボ	SYJ-157H ジャンボ	SYJ-157H-1kg 粒
	* HOK-0801 フロアブル	* HOK-0801(L) ジャンボ	SYJ-167H-1kg 粒	SYJ-222-1kg 粒
	* HOK-0801(L) フロアブル	* HOK-0801(L)-1kg 粒		
	* HOK-0801-1kg 粒	HOK-222 フロアブル		
	HOK-222-1kg 粒	HOK-223-1kg 粒		
	KPP-398 フロアブル	KPP-398(L) フロアブル		
	* KPP-398(L)-1kg 粒	* KPP-398-1kg 粒		
	* KPP-406(L) フロアブル	* KPP-501(L)-1kg 粒		
	* KPP-501-1kg 粒	* KUH-021 ジャンボ		
	KUH-021-0.25kg 粒	* KUH-041 ジャンボ		
	* KUH-041-0.25kg 粒	KUH-041-1kg 粒		
	* KUH-072D-0.25kg 粒	* KUH-072D-1kg 粒		
	* KUH-072K-0.25kg 粒	* KUH-072K-1kg 粒		
	* KUH-074 ジャンボ	* KUH-074-0.25kg 粒		
	KUH-074-1kg 粒	* KUH-074L-1kg 粒		
	NC-385SB-1kg 粒	NC-397-1kg 粒		
	NC-606 フロアブル	NC-609-1kg 粒		
	NC-617SB-1kg 粒	NC-618-1kg 粒		
	NC-621 ジャンボ	NC-621 フロアブル		
	NC-621-1kg 粒	NH-051(H) ジャンボ		
	NH-051(H) フロアブル	NH-051(H)-1kg 粒		
	NH-061-1kg 粒	NH-071D ジャンボ		
	NH-071D フロアブル	NH-071D-1kg 粒		
	NH-303 ジャンボ	* S-9421(旧SB-573) フロアブル		
	* S-9421(旧SB-573)-1kg 粒	SB-556-1kg 粒		
	SB-564 ジャンボ	SB-564 フロアブル		
	SB-564-1kg 粒	SL-0601 ジャンボ		
	SL-0601-1kg 粒	SL-0602-1kg 粒		
	SL-0701-1kg 粒	* SL-4902 フロアブル		
	SL-4902-1kg 粒	* SL-4903-1kg 粒		

区　分	実・継		継	
A-1 一発処理 つづき	SL-954 ジャンボ	* SL-954-0.5kg 粒		
	SST-403 ジャンボ	SST-404 ジャンボ		
	SST-404 フロアブル	SST-404-1kg 粒		
	SW-032(L) フロアブル	SW-041(L)-1kg 粒		
	SW-043-1kg 粒	SW-052 ジャンボ		
	SW-062 フロアブル	SW-907 粒		
	SYJ-157-1kg 粒	SYJ-167-1kg 粒		
	* SYJ-219-1kg 粒	TH-501 ジャンボ		
	TH-501 フロアブル	TH-501-1kg 粒		
	TH-547(Z) ジャンボ	TH-547(Z) フロアブル		
	TH-547(Z)-1kg 粒	* TH-601 ジャンボ		
	TH-601 フロアブル	TH-601-1kg 粒		
	HOK-221 ジャンボ	NC-627(旧BCH-064) ジャンボ		
	NC-627(旧BCH-064) フロアブル	NC-627(旧BCH-064)-1kg 粒		
	BAG-032 ジャンボ	NC-606 ジャンボ		
	NC-606-1kg 粒	NC-604 ジャンボ		
	NC-604-1kg 粒			
A-2 体系(初期)	AKD-7155 フロアブル	* HOK-201-1kg 粒	SB-531 フロアブル(少量散布)	SL-4901 フロアブル(少量散布)
	KPP-314 フロアブル	* KUH-071-1kg 粒	HOK-0901 フロアブル	HOK-0901-1kg 粒
	NSK-850 フロアブル	* SL-4901 フロアブル		
	SL-4901-1kg 粒	YH-650 フロアブル		
	YH-650-1kg 粒			
A-3 体系(中後期)	DASH-001 SC	HOK-0721 粒		
	* HOK-0802-1kg 粒	KUH-073-1kg 粒		
	SB-551-1kg 粒	SL-0401 ジャンボ		
	SL-0401-1kg 粒	SL-0401-1kg(1.5kg処理) 粒		
	SL-0601-1kg 粒	SL-0604-1kg 粒		
	SL-0613 顆粒水和	* SL-0613 顆粒水和(顆粒のまま)		
	SW-051-1kg 粒	SW-063-1kg 粒		
	SW-973-1kg 粒			
A-4 エゾノサヤヌカグサ	* HOK-0301 フロアブル	* HSW-051-1kg 粒	BCH-051 ジャンボ	BCH-051 フロアブル
	* HSW-052 フロアブル	* NH-061-1kg 粒	BCH-062 ジャンボ	BCH-063 ジャンボ
	* TH-501 フロアブル	* TH-501-1kg 粒	HOK-0605 ジャンボ	HOK-0605 フロアブル
	* TH-547(Z) ジャンボ	* TH-547(Z) フロアブル	HOK-0605-1kg 粒	KUH-021-1kg 粒
	* TH-547(Z)-1kg 粒		SL-4902 フロアブル	SL-4902-1kg 粒
			SL-954-0.5kg 粒	
A-4 オモダカ	BCH-031-1kg 粒	BCH-032-1kg 粒	BAH-041-1kg 粒	BCH-051 ジャンボ
	BCH-033-1kg 粒	BCH-052 フロアブル	BCH-051 フロアブル	BCH-062 ジャンボ
	BCH-053 フロアブル	* BCH-065L フロアブル	BCH-063 ジャンボ	BCH-085L-1kg 粒
	DPX-84ND(L) 粒	* HOK-0605(L)-1kg 粒	HOK-0301 フロアブル	HOK-0605 ジャンボ
	* HOK-0605-1kg 粒	* HOK-0605S-1kg 粒	HOK-0605 フロアブル	HOK-0605(L) フロアブル
	* NBA-101SB ジャンボ	NC-385SB 顆粒水和	HOK-0721 粒	HOK-0801 ジャンボ
	* NC-385SB-1kg 粒	* NC-604 ジャンボ	HOK-0801 フロアブル	HOK-0801(L) ジャンボ

区　分	実・継		継	
A-4 オモダカ　つづき	* NC-604 フロアブル	* NC-604-1kg 粒	HOK-0801(L) フロアブル	HOK-0801(L)-1kg 粒
	* NC-606 ジャンボ	* NC-617SB-1kg 粒	HOK-0801-1kg 粒	KPP-398 フロアブル
	* NC-618-1kg 粒	* NH-071D ジャンボ	KPP-398(L) フロアブル	KPP-398(L)-1kg 粒
	* NH-071D フロアブル	* NH-071D-1kg 粒	KPP-398-1kg 粒	KUH-073-1kg 粒
	* SL-0601 ジャンボ	* SL-0601-1kg 粒	NC-609-1kg 粒	NC-621-1kg 粒
	SL-0602-1kg 粒	SL-0613 顆粒水和	NH-051(H) ジャンボ	NJM-754 粒
	* SL-0701-1kg 粒	* SST-403 ジャンボ	SL-4901-1kg 粒	SL-4903-1kg 粒
	* SST-403 フロアブル	* SST-403-1kg 粒	SST-402-1kg 粒	SW-052 ジャンボ
	* SST-404 ジャンボ	* SW-043-1kg 粒	SW-061-1kg 粒	SW-062 フロアブル
	SW-051-1kg 粒	* TH-501 フロアブル	TH-501 ジャンボ	TH-601 フロアブル
	* TH-501-1kg 粒	YH-650 フロアブル	TH-601-1kg 粒	NC-627(旧BCH-064) ジャンボ
	YH-650-1kg 粒		NC-627(旧BCH-064) フロアブル	NC-627(旧BCH-064)-1kg 粒
			SB-556-1kg 粒	
A-4 キシュウスズメノヒエ	* NC-612-1kg 粒			
A-4 クサネム			BCH-031-1kg 粒	YH-650-1kg 粒
			BCH-032-1kg 粒	
A-4 クログワイ	BCH-031-1kg 粒	BCH-032-1kg 粒	BAH-041-1kg 粒	BCH-051 ジャンボ
	BCH-033-1kg 粒	BCH-052 フロアブル	BCH-051 フロアブル	BCH-062 ジャンボ
	BCH-053 フロアブル	* BCH-065L フロアブル	BCH-063 ジャンボ	BCH-085L-1kg 粒
	DASH-001 SC	DPX-84ND(L) 粒	HOK-0605 ジャンボ	HOK-0605 フロアブル
	* HOK-0605(L)-1kg 粒	* HOK-0605S-1kg 粒	HOK-0605(L) フロアブル	HOK-0605-1kg 粒
	* KPP-398(L) フロアブル	KUH-021-1kg 粒	HOK-0721 粒	HOK-0801 ジャンボ
	* KUH-073-1kg 粒	MAT-159 ジャンボ	HOK-0801 フロアブル	HOK-0801-1kg 粒
	* NBA-101SB ジャンボ	* NC-385SB 顆粒水和	HOK-222-1kg 粒	KPP-398 フロアブル
	* NC-385SB-1kg 粒	* NC-604 ジャンボ	KPP-398(L)-1kg 粒	KPP-398-1kg 粒
	NC-604 フロアブル	* NC-604-1kg 粒	KPP-406(L) フロアブル	NC-606 フロアブル
	* NC-606 ジャンボ	* NC-617SB-1kg 粒	NC-609-1kg 粒	NC-621-1kg 粒
	* NC-618-1kg 粒	* NH-071D ジャンボ	NH-051(H) ジャンボ	SL-4903-1kg 粒
	* NH-071D フロアブル	* NH-071D-1kg 粒	SW-052 ジャンボ	SW-061-1kg 粒
	* SL-0401 ジャンボ	* SL-0601 ジャンボ	SW-062 フロアブル	TH-501 ジャンボ
	SL-0602-1kg 粒	SL-0613 顆粒水和	TH-501-1kg 粒	TH-601 フロアブル
	* SL-0701-1kg 粒	* SST-403 ジャンボ	TH-601-1kg 粒	YH-650-1kg 粒
	SST-403 フロアブル	SST-403-1kg 粒		
	* SST-404 ジャンボ	* SW-043-1kg 粒		
	SW-051-1kg 粒	SW-063-1kg 粒		
	TH-001 フロアブル	* TH-501 フロアブル		
	* YH-650 フロアブル			
A-4 コウキヤガラ	* DASH-001 SC	NC-612-1kg 粒	BAH-041-1kg 粒	BCH-031-1kg 粒
	* SL-0401 ジャンボ	SL-0401-1kg 粒	BCH-032-1kg 粒	KPP-398(L) フロアブル
	SL-0401-1kg(1.5kg処理) 粒	* SL-0601 ジャンボ	KPP-398(L)-1kg 粒	KUH-074-1kg 粒
	SL-0601-1kg 粒	SL-0602-1kg 粒	NH-051(H) フロアブル	NH-051(H)-1kg 粒
	SL-0604-1kg 粒	* SL-0701-1kg 粒	NH-061-1kg 粒	NH-071D ジャンボ

区　分	実・継		継	
A-4 コウキヤガラ つづき	* SST-403 ジャンボ	SST-403 フロアブル	NH-071D フロアブル	NH-071D-1kg 粒
	SST-403-1kg 粒	* SST-404 ジャンボ	SL-4901-1kg 粒	SL-4902 フロアブル
	SST-404 フロアブル	* SW-051-1kg 粒	SL-4902-1kg 粒	SL-4903-1kg 粒
	TH-001 フロアブル	TH-122-1kg 粒	TH-501 ジャンボ	TH-501-1kg 粒
	TH-224 フロアブル	* TH-501 フロアブル	TH-601 フロアブル	TH-601-1kg 粒
	TH-547(Z) フロアブル	TH-547(Z)-1kg 粒	YH-650-1kg 粒	
	* YH-650 フロアブル			
A-4 シズイ	* KUH-041-1kg 粒	* SST-404-1kg 粒	BCH-032-1kg 粒	KPP-398 フロアブル
	* SW-051-1kg 粒	* TH-547(Z)-1kg 粒	KUH-031 粒	NC-604 ジャンボ
	* TH-501 フロアブル		NC-606 ジャンボ	NC-609-1kg 粒
			NC-617SB-1kg 粒	NC-618-1kg 粒
			NH-051(H) ジャンボ	NH-061-1kg 粒
			SL-0601-1kg 粒	SL-0602-1kg 粒
			SL-0613 顆粒水和	SST-404 ジャンボ
			TH-547(Z) ジャンボ	
A-4 ミズアオイ	* SYJ-167-1kg 粒	* TH-501 フロアブル	BCH-031-1kg 粒	BCH-062 ジャンボ
	* TH-501-1kg 粒		BCH-063 ジャンボ	KUH-041-1kg 粒
			NC-609-1kg 粒	SL-954-0.5kg 粒
			SW-043-1kg 粒	SW-062 フロアブル
			TH-547(Z) ジャンボ	TH-547(Z) フロアブル
			TH-547(Z)-1kg 粒	TH-601 フロアブル
			TH-601-1kg 粒	NC-627(旧BCH-064) ジャンボ
			NC-627(旧BCH-064) フロアブル	NC-627(旧BCH-064)-1kg 粒
A-4 SU抵抗性コナギ			SL-0602-1kg 粒	NC-617SB-1kg 粒
			NC-618-1kg 粒	
A-4 SU抵抗性ホタルイ			BCH-062 ジャンボ	BCH-063 ジャンボ
			NC-609-1kg 粒	SL-954-0.5kg 粒
			SYJ-167-1kg 粒	NC-627(旧BCH-064) ジャンボ
			NC-627(旧BCH-064) フロアブル	NC-627(旧BCH-064)-1kg 粒
			NC-617SB-1kg 粒	NC-618-1kg 粒
B 直播栽培	NC-331 水和	SL-0612 顆粒水和(乾直入水前)	SL-4901 フロアブル	SL-4901 フロアブル(少量散布)
	SW-751 粒(少量散布)	SW-751 粒	SL-4901-1kg 粒	BCH-065L フロアブル
	* NBA-101SB ジャンボ	NC-385SB 顆粒水和	BCH-085L-1kg 粒	HOK-0605(L)-1kg 粒
	NC-385SB-1kg 粒	* NH-051(H)-1kg 粒	HOK-0605-1kg 粒	HOK-0605S-1kg 粒
	* NH-302 フロアブル	SB-556 フロアブル	KUH-074-1kg 粒	NH-061-1kg 粒
	* SL-0601-1kg 粒	* SST-404 フロアブル	NH-071D フロアブル	NH-071D-1kg 粒
	* SST-404-1kg 粒	SW-043-1kg 粒	SST-404 ジャンボ	SW-062 フロアブル
	* BAS-3510(Na) 粒	DASH-001 SC	SYJ-150 フロアブル	SYJ-157-1kg 粒
	DEH-112 乳(EW)	KUH-031 粒	NC-606 ジャンボ	NC-606 フロアブル
	* NC-612-1kg 粒	SL-0401-1kg 粒	HOK-0721 粒	KUH-073-1kg 粒
	SL-0401-1kg(1.5kg処理) 粒		SL-0613 顆粒水和	SW-063-1kg 粒
			S-9146-1kg 粒	

注):1)本年度新規に使用基準が作成されたものは、薬剤名に「*」を記した。
2)本年度は「実」,「継?」及び「中止」と判定された薬剤はなかった。

平成21年度 水稲関係除草剤使用基準一覧表

A 移植栽培

A-1 一発処理

A-1

BAH-041-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始		●始			●発生期				+0～ノビエ1.5L	1kg		●
東北	●1.5	●	●始	●始	●始	●始			●発生期						●	●
北陸	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期		●前					●
関東・東海	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期		●前					●
近・中・四	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期		●前				●	●
九州	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期							●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1

BCH-031-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始		エゾノギヤツメカグサ:2L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始 2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●始※	●始	○発生期	○再生前～始					○*	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始		○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始					○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:
*:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する(東北,九州)。
クログワイ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する(北陸,関東・東海,近畿・中国・四国)。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北,関東・東海)
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道,北陸,近畿・中国・四国)

A-1

BCH-032-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始		エゾノギヤツメカグサ:2L ミズアオイ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○~~2.5~~ 3	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ~~2.5L~~ 3L		○*	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L		○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L(砂壌土は2.5Lまで)		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:
散布後の低温条件により強い生育抑制を受けることがある。(北海道)
*:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

BCH-033-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始		エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L		○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始	○始	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	●始	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○~~2.5~~ 3	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ~~2.5L~~ 3L		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の低温条件により強い生育抑制を受けることがある。(北海道)
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

BCH-044-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:始 SU抵抗性ホタルイ:2L	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

BCH-051 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	30g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始 2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1

BCH-051 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
BCH-052 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始		エゾノギヤツリ:2L ミズアオイ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L	+5～ノビエ3L	500ml	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○*	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●**	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●*	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: **:散布後の低温条件により強い生育抑制を受けることがある。
*:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
薬液が付着した稲体には白化症状が生ずることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
BCH-053 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始		エゾノギヤツリ:2L ミズアオイ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L	+5～ノビエ3L	500ml	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○2 3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●*	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:散布後の低温条件により強い生育抑制を受けることがある。
薬液が付着した稲体には白化症状が生ずることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
BCH-062 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	40g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始 2	○始 2			○発生期	○再生前～始					●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
BCH-063 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	50g×10コ	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始					○*	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1

BCH-065L フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	●始	●始	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始	●前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	●前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

BCH-085L-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L	1kg	●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1

DPX-84ND(L) 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○3	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	3kg	○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	●始	○始	○発生期	○再生前～始					○(倍量ふり)	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始					○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0301 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期			ｴｿﾞﾅｻﾔｽｶｹﾞﾓ:2L	+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※		○発生期						○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○始※		○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期		○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期						○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
HOK-0401(L) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
HOK-0605 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	50g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
HOK-0605 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始	●前				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1
HOK-0605(L) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●抽(藻類)				○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1

HOK-0605(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	●始	●始		○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2 2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　浅捕え、植付け精度不良等で薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0605-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始		●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0605S-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0611-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●始		+3～ノビエ2.5L	1kg	●	●
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1
HOK-0801 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	50g×10コ		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1
HOK-0801 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	500ml		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
HOK-0801(L) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	50g×10コ	●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
HOK-0801(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前			+0～ノビエ2.5L	500ml	●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
九州	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
HOK-0801(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前			+0～ノビエ2.5L	1kg	●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●始	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	~~●減(藻類)~~					●

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
HOK-0801-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
HOK-222 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

水口処理可能　田植同時散布可能
※：オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　オモダカ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
HOK-222-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○始	○始		○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※：オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　低温等による活着不良の場合には薬害が生じることがある。(東北)
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
HOK-223-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KPP-398 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ1.5L	500ml	●	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1
KPP-398(L) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○1.5	○	○始		○~~始~~	○前	●始		○発生期	○再生前～始	●前		+0～ノビエ1.5L	500ml	●	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四 ~~(生)~~	○1.5	○	○始		○始	○始	●始		○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○1.5	○	○始		○2	○始	●始※		○発生期	○再生前～始	○前				●	○

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
KPP-398(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●1.5	●	●始		●始	●前				●再生前～始			+0～ノビエ1.5L	1kg		●
関東・東海	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●1.5	●	●始	●前	●始	●始				●再生前～始	~~●前(藻類)~~					●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KPP-398-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始		●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ1.5L	1kg		●
東北	●1.5	●	●始	●前	●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
KPP-406(L) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2L	500ml	●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L		●	●
近・中・四	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2L		●	●
九州	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

全面散布（北陸）
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KPP-501(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ1.5L	1kg		●
関東・東海	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始	~~●前（藻類）~~					●

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KPP-501-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始		●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ1.5L	1kg		●
東北	●1.5	●	●始	●始	●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
KUH-021 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●3	●	●2	●始	●2	●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ3L	25g×10コ		●
北陸	●3	●	●2		●2	●2			●発生期							●
関東・東海	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四 (普)	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KUH-021-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ3L	250g	●	○
東北	○3	○	○3	○2	○3	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○3	○	○3		○2 3	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

湛水周縁部散布可能(北海道～九州)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KUH-041 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	25g×10コ		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始										●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	~~●前(藻類)~~					●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KUH-041-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期							●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

湛水周縁部散布可能(東北～九州)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KUH-041-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	クリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ3L (砂壌土は+3～)	1kg	○	○
東北	○3	○	○3	○3	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:発生始 クスダ:3cm			○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:発生始	+3～ノビエ3L		○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:発生始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-072D-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	クリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期				+3～ノビエ2.5L	250g		●
関東・東海																
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g		●
九州																

湛水周縁部散布可能(北陸, 近畿・中国・四国)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1
KUH-072D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	クリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始				●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	1kg		●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四　(管)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(近畿・中国・四国, 九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KUH-072K-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	クリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

湛水周縁部散布可能(北海道, 東北)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(東北)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
KUH-072K-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	1kg		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(東北)

A-1
KUH-074 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	25g×10コ		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KUH-074-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●始(藻類)					●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●始(藻類)					●

湛水周縁部散布可能(北海道～北陸，近畿・中国・四国，九州)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KUH-074-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ3L	1kg		○
東北	○3	○	○2	○3	○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
関東・東海	○3	○	○3		○2～3	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始	○始(藻類)				●	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始	○始(藻類)				●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(北陸，九州)
移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(近畿・中国・四国)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1

KUH-074L-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●始	●始		●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2L	1kg		● ●
東北	●2	●	●2	●2	●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●2	●	●2		●始	●始			●発生期						●	●
関東・東海	●2	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四	●2	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●1.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ1.5L			●

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1

NC-385SB-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L ミズアオイ:2L	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L	+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	●始※	●始※	○発生期				+0～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前		~~+0+5~~～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○

田植同時散布可能
※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

NC-397-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ1.5L	1kg		○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○前				○再生前～始			+0～ノビエ1.5L (砂壌土は+3～)		○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L		○	○
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1

NC-606 プロアプル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始	○始		+5～ノビエ2.5L	500ml	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始 2	○2	○始			○発生期	○再生前～始	●始				●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○始				●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○始					○
近・中・四 ~~(芝)~~	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○始				●	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○始			○発生期		○始				●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　~~浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(北陸)~~
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-609-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ3L (砂壌土は+3～)	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○3	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ3L		○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	●再生前～始	○前		+0+3～ノビエ3L (砂壌土は+3～)		○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ3L		○	○
近・中・四	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L			●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-617SB-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○~~3.5~~ 4	○	○3	○3		○2 3		●始～矢じり1L	○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ~~3.5L~~ 4L	1kg		○
東北	○4	○	○4	○4	○4	○3			○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ4L			○
北陸	●4	●	●4		●4	●3	●草丈10cm								●	●
関東・東海	○4	○	○4		○4	○3			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○4	○	○3 4		○3 4	○3 4	●草丈10cm	●広葉形葉～矢じり1L	○発生期	○再生前～始			~~+5~~+7～ノビエ4L			○
九州	○4	○	○4		○4	○4		●始～矢じり1L※	○発生期	○再生前～始	~~○前(藻類)~~				●	○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北陸)
深水条件では薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-618-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○~~3.5~~ 4	○	○3 4	○3 4		○2 3		●始～矢じり1L	○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ~~3.5L~~ 4L	1kg		○
東北	○3.5	○	○3	○3	○4	○3			○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ3.5L			○
北陸	●3.5	●	●3		●3	●3	●草丈10cm		●発生期							●
関東・東海	○~~3.5~~ 4	○	○4		○3	○3			○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ~~3.5L~~ 4L		●	○
近・中・四 ~~(茎)~~	○~~3.5~~ 4	○	○4		○3	○3	●草丈10cm	●始～矢じり1L	○発生期	○再生前～始			~~+5~~+7～ノビエ~~3.5L~~ 4L			○
九州	○~~3.5~~ 4	○	○4		○4	○4		●始～矢じり1L※	○発生期	○再生前～始	~~○前(藻類)~~				●	○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北陸)
深水条件では薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-621 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●3	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3L	40g×10コ		●
東北	○3	○	○3	○2	○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○3	○	○3	○前	○4	○3			○発生期	○再生前～始						○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-621 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●3	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3L	500ml		●
東北	○3	○	○3	○3	○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○3	○	○3	○前	○3	○2			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(近畿・中国・四国)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-621-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L	1kg		○
東北	○3	○	○2	○2	○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始					●*	○
近・中・四	○3	○	○3		○2 3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　*:散布後の低温条件により薬害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NH-051(H) ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始 2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	50g×10コ	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1
NH-051(H) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始	○前	ｴｿﾞﾉｸﾞｻﾔｽｶﾞﾒ:2L	+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｼｽﾞｲ:基丈3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
水口処理可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
NH-051(H)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノギヤツスガヂ:2L	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
NH-061-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノギヤツスガヂ:2L	+3～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○3		○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2 3		○始 2	○2	○始※	○始※	●発生期	●再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
NH-071D ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始 2	●始	●始	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	50g×10コ	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始						○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
NH-071D フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●始	●始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				●	○

田植同時散布可能
水口処理可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

NH-071D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●始	●始	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始	●前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				●	○

田植同時散布可能
※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

NH-303 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○2.5	○	○2	○始	○始								+0～ノビエ2.5L	60g×10コ	●	○
北陸	○2.5	○	○2		○始										●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2										●	○
近・中・四	~~(芽)~~ ○2 2.5	○	○2		○始 2								+0～ノビエ2L 2.5L		●	○
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1

S-9421(旧SB-573) プロアプル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期				+5～ノビエ2.5L	500ml		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期							●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海	●2.5	●	●2		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1

S-9421(旧SB-573)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期				+5～ノビエ2.5L	1kg		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期							●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1

SB-556-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期				+0～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北	○2	○	○2	○始	○2	○2		○始※	○発生期				+0～ノビエ2L		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期				+0～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2 2.5	○	○2		○2	○2			○発生期				+0～ノビエ2L 2.5L		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期				+0～ノビエ2.5L		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 活着不良の場合、散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(東北)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SB-564 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期				+3～ノビエ2L	30g×10コ	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○2	○始	○始※	○始※	○発生期						○	○
北陸	○2	○	○始 2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期						○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
九州	○2	○	○2	○始	○2	○2		○始※	○発生期						○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SB-564 プロアプル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○2		○始			○発生期			ミズアオイ:2L	+0+3～ノビエ2L (砂壌土は+3～)	500ml	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始	○始※	○始※	○発生期			シズイ:草丈3cm	+0+3～ノビエ2L		○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期			コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始	○始	○始		○発生期						○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期			コウキヤガラ:始	+3～ノビエ2L		○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SB-564-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○2		○始			○発生期			ミズアオイ:2L	+0+3～ノビエ2L (砂壌土は+3～)	1kg	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始	○始※	○始※	○発生期			シズイ:草丈3cm	+0+3～ノビエ2L		○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期			コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始	○始	○始		○発生期						○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期			コウキヤガラ:始	+3～ノビエ2L		○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SL-0601 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○3	○4		○3	●草丈10cm※	●始※	○発生期	○再生前～始			+7～ﾉﾋﾞｴ4L	50g×10コ	○	○
北陸	○4	○	○4			○2	●草丈10cm	●始	○発生期	○再生前～始					●	○
関東・東海	○4	○	○4			●3	●草丈10cm※	●始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			●	○
近・中・四	○4	○	○4			○3	●草丈10cm	●始	○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○3 4	○	○4			○4			○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始	+7～ﾉﾋﾞｴ3L 4L		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SL-0601-1kg 粒

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○4	○4		○3	○草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始	+7～ﾉﾋﾞｴ4L	1kg	○	○
北陸	○4	○	○3			○2	○草丈10cm	●矢じり葉抽出前	○発生期						○	○
関東・東海	○4	○	○4			○3	○草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始 SU抵抗性ｺﾅｷﾞ:3L			○	○
近・中・四	○4	○	○4			○3	○草丈10cm	●矢じり葉抽出前	○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○4	○	○4			○4			○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SL-0602-1kg 粒

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○3	○4	○4	○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始	+7～ﾉﾋﾞｴ4L	1kg	○	○
北陸	○4	○	○4		○3	○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○4	○	○4		○4	○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始～草丈20cm			○	○
近・中・四	○4	○	○4		○4	○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○4	○	○4		○4	○4			○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始～草丈20cm			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SL-0701-1kg 粒

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4	○	○3	○3		○3			○発生期	○再生前～始			+7～ﾉﾋﾞｴ4L	1kg		○
東北	○4	○	○4	○4		○3			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○4	○	○4		○2	○3	●草丈10cm	●矢じり葉抽出前	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○4	○	○4		○2	●3			○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			●	○
近・中・四	○4	○	○4		○2	○3	●草丈10cm	●矢じり葉抽出前	○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○3 4	○	○4		○3	○3			○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始	+7～ﾉﾋﾞｴ3L 4L		●	○

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SL-4902 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期				+3～ノビエ2.5L	500ml		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期						●	●
北陸	●2	●	●2		●始	●始			●発生期				+3～ノビエ2L		●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期		●前		+3～ノビエ2.5L		●	●
近・中・四 (畜)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期		●前					●

全面散布(北陸, 関東・東海)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SL-4902-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期				+3～ノビエ2L	1kg	●	○
東北	○2	○	○2	○始	○2	○始			○発生期						○	○
北陸	○2	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○始	●始			○発生期		○前				●	○
近・中・四 ~~(畜)~~	○2	○	○2		○2	○2			○発生期						●	○
九州	○2 2.5	○	○2		○2	○2			○発生期				+3～ノビエ2L 2.5L		●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SL-4903-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	1kg		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期						●	●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SL-954 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○始		○2			○発生期			エゾノギヤツヌカグサ:2L, SU抵抗性ホタルイ:2L	+3～ノビエ2L	50g×10回	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○始			○発生期			SU抵抗性コナギ:2L, SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
近・中・四	○2 2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		●前		+3～ノビエ2L 2.5L		○	○
九州	○2 2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前	コウキヤガラ:発生始	+3～ノビエ2L 2.5L (砂壌土はノビエ2L)まで		○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
コウキヤガラ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SL-954-0.5kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●始	●始		●始			●発生期				+5～ノビエ2L	500g		●
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

落水周縁部散布可能(北海道)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
落水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1
SST-403 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	40g×10コ	○	○
北陸	●1.5	●	●始		●始	●前			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四　(晋)	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州																

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SST-404 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●始	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	40g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○2	●始※	●始	○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※		○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始	+0～ノビエ2.5L ~~(砂壌土はノビエ3L薬量)~~		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(東北,北陸,近畿・中国・四国)
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海,九州)
コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SST-404 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm コウキヤガラ:始			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

田植同時散布可能
水口処理可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SST-404-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L ミズアオイ:2L	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始 シズイ:草丈3cm SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始 SU抵抗性コナギ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SW-032(L) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0+3～ノビエ2.5L		○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1

SW-041(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	○*	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始		SU抵抗性コナギ:1L SU抵抗性ホタルイ:1.5L			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L ~~(砂壌土は+3～)~~		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0+3～ノビエ2.5L		○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SW-043-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●始	○発生期		○前		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	●始※	○発生期		○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	●始	●始	○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期		○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SW-052 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期		○前		+1～ノビエ2.5L	50g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期		○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SW-062 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期				+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期						○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期						○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SW-907 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○2 2.5	○	○2	○2	○2	○2			●発生期		○前	シズイ:始	+3～ノビエ2L 2.5L	3kg		○
北陸	○2	○	○2		○2	○2							+3～ノビエ2L			○
関東・東海	○2 2.5	○	○2		○2	○2			●発生期		○前		+3～ノビエ2L 2.5L			○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2L			○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　浅植え、植え付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じる事がある。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SYJ-157-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性コナギ:1L SU抵抗性ホタルイ:1L			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+3～)		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SYJ-167-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始					○発生期			ミズアオイ:1L	+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始										○	○
北陸	○2	○	○始		○始								+0～ノビエ2L		○	○
関東・東海	○2	○	○2		○始				○前				+0～ノビエ2L(砂壌土はノビエ1.5Lまで)		●	○
近・中・四	○2	○	○始		○始				○前				+0～ノビエ2L(砂壌土はノビエ1.5Lまで)		○	○
九州	○1.5	○	○始		○始								+0～ノビエ1.5L		○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SYJ-219-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●始	●始		●始			●発生期				+0～ノビエ2L	1kg		●
東北	●2	●	●2	●始	●始	●始			●発生期						●	●
北陸	●2	●	●2		●始	●始			●発生期						●	●
関東・東海	●2	●	●2		●2	●2			●発生期							●
近・中・四	●2	●	●2		●2	●始			●発生期						●	●
九州	●2	●	●2		●2	●2			●発生期							●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
TH-501 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○~~2.5~~ 3	○	○2 3	○2 3		○~~始~~ 2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ~~2.5L~~ 3L	40g×10コ		○
東北	○~~2.5~~ 3	○	○2	○始 2	○2	○始 2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○~~2.5~~ 3	○	○2		○始	○始			○発生期	●再生前～始	●前				○*	○
関東・東海	○~~2.5~~ 3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前				●	○
近・中・四	○~~2.5~~ 3	○	○2 3		○2 3	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L		●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1

TH-501 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○~~2.5~~ 3	○	○2 3	○2 3		○始 2		●始	○発生期	○再生前～始		エゾノサヤヌカグサ:2L, ミズアオイ:1L	+5～ノビエ~~2.5L~~ 3L	500ml		○
東北	○~~2.5~~ 3	○	○2	○始 2	○2	○始		●始※	○発生期	●再生前～始		コウキヤガラ:始 シズイ:3cm			○	○
北陸	○~~2.5~~ 3	○	○2		○始 2	○始	●始	●始	○発生期	○再生前～始					○*	○
関東・東海	○~~2.5~~ 3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			●	○
近・中・四 (~~2~~)	○~~2.5~~ 3	○	○2 3		○2 3	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始	+5～ノビエ2.5L		●	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　*:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

TH-501-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○~~2.5~~ 3	○	○2 3	○2 3		○始 2		●始	○発生期	○再生前～始		ミズアオイ:1L エゾノサヤヌカグサ:2L	+5～ノビエ~~2.5L~~ 3L	1kg		○
東北	○~~2.5~~ 3	○	○2	○始 2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○~~2.5~~ 3	○	○始 2		○始 2	○始			○発生期	○再生前～始	●前				○*	○
関東・東海	○~~2.5~~ 3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前				●	○
近・中・四	○~~2.5~~ 3	○	○2 3		○2 3	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		●	○

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　*:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

TH-547(Z) ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始		エゾノサヤヌカグサ:2L	+5～ノビエ3L	40g×10コ	●	○
東北	○~~2.5~~ 3	○	○2	○始 2	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ~~2.5L~~ 3L		○	○
北陸	○3	○	○2		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3L		○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○~~2.5~~ 3	○	○2 3		○2 3	○2 3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ~~2.5L~~ 3L		○	○
九州	○~~2.5~~ 3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

TH-547(Z) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2 3	○2 3		○2		○始※	○発生期	○再生前～始		エゾノサヤヌカグサ:2L	+5～ノビエ3L	500ml	●	○
東北	○~~2.5~~ 3	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm コウキヤガラ:始	+5～ノビエ~~2.5L~~ 3L		○	○
北陸	○~~2.5~~ 3	○	○始 2		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始	+5～ノビエ3L		○	○
近・中・四	○~~2.5~~ 3	○	○2 3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ~~2.5L~~ 3L		●	○
九州	○~~2.5~~ 3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
TH-547(Z)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2 3	○2 3		○2		○始※	○発生期	○再生前～始		エゾノサヤヌカグサ:2L	+5～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○~~2.5~~ 3	○	○2	●2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始 シズイ:3cm	+5～ノビエ~~2.5L~~ 3L		○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L		○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○~~2.5~~ 3	○	○~~2.5~~ 3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ~~2.5L~~ 3L		○	○
九州	○~~2.5~~ 3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで速年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
TH-601 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	20g×10コ		●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四 (晉)	●2.5	●	●2		●始	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		●	●
九州	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2L			●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
TH-601 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	500ml	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始 2	○始			○発生期	●再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L		●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
TH-601-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始 2			●発生期	○再生前～始					●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	~~○前 (藻類)~~				●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
HOK-221 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始			±0～1～ノビエ2L	50g×10ｺ	○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ2L		○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-627(旧BCH-064) ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	30g×10ｺ	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○2.5	○	○2		○始 2	○始 2			○発生期	○再生前～始					●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-627(旧BCH-064) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	500ml		○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始 2	○始 2			○発生期	○再生前～始					●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-627(旧BCH-064)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始 2			○発生期	○再生前～始					●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
BAG-032 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始		○前※	○発生期	○再生前～始	○前		+3～ﾉﾋﾞｴ2L	20g×10ｺ	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前	ｲﾎﾞｸｻ:始 SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L			○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○始	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L SU抵抗性ｺﾅｷﾞ:2L			○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NC-606 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○始		+5～ﾉﾋﾞｴ2.5L	30g×10ｺ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期		○始				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
NC-606-1kg 粒

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○始		+5～ﾉﾋﾞｴ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○始	○始		○始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始		○始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始※		○再生前～始	○始				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NC-604 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○2		○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ﾉﾋﾞｴ2L	30g×10ｺ		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始			+5～ﾉﾋﾞｴ2.5L		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
NC-604-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始		●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2　体系(初期)

A-2
AKD-7155 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始							○始		+0～ノビエ1L	500ml	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○始						○始		植代後～-4, +0～ノビエ1L		○	○
北陸	○1	○	○前		○前						○前				○	○
関東・東海	○1	○	○始		○前						○始				○	○
近・中・四	○1	○	○始		○萌芽						○前				●	○
九州	○1	○	○始		○始						○始				●	○

水口処理可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　深水条件では薬害を生じることがある。

A-2
HOK-201-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四　(苗)	●2.5	●	●始		●始								+0～ノビエ2.5L	1kg	●	●
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
KPP-314 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○1	○	●始	●始									植代時～-4, +0～ノビエ1L	500ml		○
北陸	○1	○	●前												○	○
関東・東海	●1	●	●始										植代後～-4, +0～ノビエ1L		●	●
近・中・四　(苗)	●1	●													●	●
九州	●1	●														●

植代時は土壌混和処理(混和時水深3～5cm、混和深2～3cm)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の高温により褐変・流れ薬などの薬害症状が助長され、強い生育抑制につながることがある。(九州)
深水条件では薬害を生じることがある。

A-2
KUH-071-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●2.5	●											+3～ノビエ2.5L	1kg		●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。(東北)

A-2
NSK-850 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○											植代後～-4,+0～ノビエ1L(砂壌土は+0～)	500ml	●	○
東北	○1	○											植代後～-4,+0～ノビエ1L		●	○
北陸	○1	○													●	○
関東・東海 (芝)	○1	○													●	○
近・中・四 (芝)	○1	○											植代後～-4,+0～ノビエ1L(砂壌土は+0～)		●	○
九州 (芝)	○1	○											植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
SL-4901 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●1	●	●始	●前	●始	●前			●発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1L	500ml	●	●
北陸	●1	●	●始		●始	●始			●発生期							●
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
SL-4901-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○1	○	○始		○始	○前			○発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1L	1kg	●	○
北陸	○1	○	○前		○前	○前			○発生前						○	○
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
YH-650 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始		●前～始	○発生期				+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始		○前		●始	○発生期			コウキヤガラ:前	植代後～-4, +0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始			○始		○前	○発生期						○	○
関東・東海	○1.5	○	○始			○始	●前※	○前※	○発生期			SU抵抗性ホタルイ:始 コウキヤガラ:前			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始			○始	●前	○前	○発生期						○	○
九州	○1.5	○	○始			○始		○前※	○発生期						○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　SU抵抗性ホタルイ防除は、有効な剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸,関・東,近・中・四,九州)
オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北)
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道)
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2
YH-650-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期				+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始		○前			○発生期				植代後～-4, +0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始			○始		○前	○発生期						○	○
関東・東海	○1.5	○	○始			○始		○前※	○発生期						○	○
近・中・四	○1.5	○	○始			○始		○前	○発生期						○	○
九州	○1.5	○	○始			○始		○前※	○発生期						○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 体系(中後期)

A-3
DASH-001 SC

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○5	○	○花茎抽出始	○5		○4			○生育期	○生育期			+25～+40(イネ6L以降,ノビエ5Lまで)	100ml (散布液量100L)	○	○
東北	○5	○	○花茎抽出始	○4	○4	○4	○草丈20cm※	○草丈30cm※	○生育期	○生育期		シズイ:生育期(20cm以下)			○	○
北陸	○5	○	○花茎抽出始		○4	○5	○草丈30cm	○草丈30cm	○生育期	○生育期					○	○
関東・東海	○5	○	○花茎抽出始		○5	○5	○草丈30cm※	○草丈30cm※	○生育期	○生育期		コウキヤガラ:茎丈20cm			○	○
近・中・四	○5	○	○花茎抽出始		○5	○5	○草丈30cm	○草丈30cm		○生育期		クサネム:生育期(草丈20cm以下)			○	○
九州	○5	○	○花茎抽出始		○6	○6			○生育期	○生育期			+20+25～+40(イネ5L,6L以降,ノビエ5Lまで)		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組合せで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ・シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
HOK-0721 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	5															
東北	○5	○	○5	○5	○5	○4			○生育期				+20～+40(イネ5L以降,ノビエ5Lまで)	3kg	○	○
北陸	○4	○	○5		○5	○4			○生育期				+20～+40(イネ5L以降,ノビエ4Lまで)		●	○
関東・東海	○4	○	○5		○5	○5			○生育期						●	○
近・中・四	○4 5	○	○5		○5	○4			○生育期				+20～+40(イネ5L以降,ノビエ4L5Lまで)		●	○
九州	○4 5	○	○5		○5	○5			○生育期							○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。

A-3
HOK-0802-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●3.5	●	●3	●3	●3	●3			●発生期		●始		+15～+35(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)	1kg		●
北陸																
関東・東海	●3.5	●	●3		●2	●3			●生育期				+15～+35(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)	1kg		●
近・中・四 (管)	●3.5	●	●3		●3	●3			●発生期						●	●
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
苗しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。

A-3
KUH-073-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3.5	○	○3	○3		○3			○発生期		○始		+20～+35(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)	1kg	●	○
東北	○3.5	○	○3	○2	○3	○2	●始※		○発生期		○始				○	○
北陸	○3.5	○	○3		○2	○2	●始		○発生期		○始				○	○
関東・東海	○3.5	○	○3		○3	○3			○発生期		○前				○	○
近・中・四	○3.5	○	○3		○3	○3	●始		○発生期		○前				○	○
九州 (早)	○3.5	○	○3	○2	○4	○4	●始※		○発生期							○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
苗しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
SB-551-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○3	○	○3		○2	○2							+20～+30(イネ5L以降,ノビエ3Lまで)	1kg	○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2			○発生期						○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2			○発生期				+15～+30(早期は+20～,イネ5L以降,ノビエ3Lまで)		○	○
九州	○3	○	○3		○2	○2			○発生期				+15～+30(イネ5L以降,ノビエ3Lまで)		○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
SL-0401 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○マツバイ	○3			○2	●草丈10cm		○生育期				+14～+35(ノビエ4Lまで)	50g×10回	○	○
北陸	○4		○3			○2	●草丈10cm		○生育期						●	○
関東・東海	○3 4		○4			○3			○発生期			コウキヤガラ:草丈10cm	+14～+35(ノビエ~~3L~~4Lまで)		●	○
近・中・四	○3 4		○3 4			○2 3	●始		○発生期							○
九州	○3 4		○4	○2		○4			○生育期							○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3

SL-0401-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4		○4	○3		○4			○生育期				+20～+35 (ノビエ4Lまで)	1kg	○	○
東北	○4		○4	○4		○3	○草丈10cm※		○生育期			シズイ:草丈10cm コウキヤガラ:草丈10cm	+7～+35 (ノビエ4Lまで)		○	○
北陸	○4		○4			○3			○生育期						○	○
関東・東海	○4		○4			○3			○生育期			コウキヤガラ:草丈10cm			○	○
近・中・四	○4		○4			○4	○草丈10cm		○生育期						○	○
九州	○4		○4			○3			○生育期			コウキヤガラ:発生始			○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3

SL-0401-1kg(1.5kg処理) 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○5		○4	○4		○4			○生育期				+30～+40 (ノビエ5Lまで)	1.5kg	○	○
東北	○5		○花茎抽出始	○4		○4	○草丈15cm※		○生育期			シズイ:草丈15cm コウキヤガラ:草丈15cm	+14～+40 (ノビエ5Lまで)		○	○
北陸	○5		○4			○4			○生育期						○	○
関東・東海	○5		○5			○4	○草丈15cm※		○生育期			コウキヤガラ:草丈15cm			○	○
近・中・四	○5		○5			○4	○草丈15cm		○生育期						○	○
九州	○5		○5			○4			○生育期			コウキヤガラ:発生始			○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3

SL-0601-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○4	○4		○3	○草丈10cm※	●矢尻前※	○生育期	○再生前～始		コウキヤガラ:始	+14～+35 (ノビエ4Lまで)	1kg	○	○
北陸	○4	○	○3			○3	○草丈10cm	●矢尻前	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○4	○	○4			○3	○草丈10cm※	●矢尻前※	○生育期	○再生前～始		コウキヤガラ:発生始～20cm SU抵抗性コナギ:3L			●	○
近・中・四	○4	○	○4			○3	○草丈10cm	●矢尻前	○生育期						○	○
九州												コウキヤガラ:始～20cm				

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3

SL-0604-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4	○	○4	○4		○3			○発生期		○始		+14～+35(イネ5L以降,ノビエ4Lまで)	1kg	●	○
東北	○4	○	○4	○4	○4	○4	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○生育期		○始	コウキヤガラ:始	+14～+35(イネ4L以降,ノビエ4Lまで)		○	○
北陸	○4	○	○4		○3	○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前	○発生期		○始				○	○
関東・東海	○4	○	○4		○4	○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期		○始	コウキヤガラ:発生始			●	○
近・中・四	○4	○	○4		○3	○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前	○生育期		○始				○	○
九州　(早)	○4	○	○4	○始	○4	○4			○発生期		○始	コウキヤガラ:発生始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
著しい高温条件では薬害を生じることがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3

SL-0613 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○5	○	○花茎抽出始	○4	○5	○4	○生育期(草丈30cm以下)※	○*(草丈30cm以下)※	○生育期	○生育期		コウキヤガラ：生育期(草丈30cm以下)	+14～+40(イネ4L以降，ノビエ5Lまで)	1000g (散布液量100L)		○
北陸	○5	○	○4		○4	○4	○生育期(草丈30cm以下)※	○*(草丈20cm以下)※	○生育期	○再生前～始					●	○
関東・東海	○5	○	○5		○5	○5	○生育期(草丈30cm以下)※	○*(草丈30cm以下)※	○生育期	○生育期		コウキヤガラ：生育期(草丈30cm以下)			○	○
近・中・四	○5	○	○5		○5	○5	○生育期(草丈30cm以下)	○*(草丈30cm以下)※	○生育期	○生育期					○	○
九州	○4 5	○	○花茎抽出始		○6	○6			○生育期	○生育期			+14～+40(イネ4L以降，ノビエ4L-5Lまで)			○

*：発生盛期～矢じり茎抽出期
※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(関東・東海)
前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し，2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3

SL-0613 顆粒水和(顆粒のまま)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●4	●4	●3	●3			●生育期	●生育期			+14～+40(イネ4L以降，ノビエ4Lまで)	1kg (顆粒のまま散布)		●
北陸	●4	●	●4		●3	●2			●生育期	●再生前～始			+14～+40(イネ5L以降，ノビエ4Lまで)			●
関東・東海	●4	●	●4		●3	●4			●発生期	●再生前～始			+14～+40(イネ6L以降，ノビエ4Lまで)			●
近・中・四　(普)	●4	●	●4		●4	●3			●生育期	●再生前～始			+14～+40(イネ4L以降，ノビエ4Lまで)			●
九州																

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し，2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。

A-3

SW-051-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○3.5	○	○3	●3	○3	○3	○草丈20cm※	○広線形薬4L※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ：草丈15cm シズイ：草丈10cm	+20～+30 (ノビエ3.5Lまで)	1kg	○	○
北陸	○3.5	○	○3		○3	○3	○草丈20cm※	○広線形薬4L	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3.5	○	○3		○4	○3	○草丈20cm※	○広線形薬4L※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ：草丈15cm			○	○
近・中・四	○3.5	○	○3		○3	○3	●草丈20cm※	●広線形薬4L	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3.5	○	○3		○4	○4			○発生期						○	○

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北,北陸)
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海)
クログワイ防除は有効な前後処理剤との組み合わせで使用する。(近畿・中国・四国)
コウキヤガラ・シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3

SW-063-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○5	○	○3	○4		○4		○* ※	○発生期				+25～+40(イネ4L以降，ノビエ5Lまで)	1kg	○	○
東北	○5	○	○花茎抽出始	○4	○5	○2	●草丈15cm	○* ※	○発生期生育期				+25～+40 (ノビエ5Lまで)		○	○
北陸	○5	○	○5		○4	○3	○草丈30cm	○* ※	○生育期	○生育期					○	○
関東・東海	○4 5	○	○5		○4	○4	●草丈20cm	○* ※	○生育期	○生育期			+25～+40 (ノビエ4L-5Lまで)		○	○
近・中・四	○4 5	○	○5		○3	○4	○草丈30cm	○* ※	○生育期						○	○
九州	○5	○	○5		○5	○6	○草丈30cm※	○* ※	○生育期				+25～+40 (ノビエ5Lまで)		○	○

*：発生盛期～矢じり茎抽出期(草丈30cm以下)
※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
SW-973-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3.5	○	○3	○2		○3		○始	○発生期		○始	エゾノサヤヌカグサ：2L	+20～+30(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)	1kg	○	○
東北	○3.5	○	○2	○始	○2		○始※	○始				シズイ：始～3cm タケコヶ：本葉2L	+20～+30±3日(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)		○	○
北陸	○3.5	○	○2		○2	○2									○	○
関東・東海	○3.5	○	○3		○3	○3	○始※	○始	○生育期		○始	クサネム：発生始(1～3葉)			○	○
近・中・四	○3.5	○	○2		○3	○3	○始※	○始	○発生期		○始				○	○
九州													+20～+30(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)		○	○

※：クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
液水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の低温条件により薬害を生じることがある。
著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4　特殊雑草対象（エゾノサヤヌカグサ）

A-4 エゾノサヤヌカグサ
HOK-0301 フロアブル

地域名	対象雑草：　エゾノサヤヌカグサ	処理時期（対象雑草の生育時期）	使用量 /10a
北海道	●	2L	500ml
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意：

A-4 エゾノサヤヌカグサ
HSW-051-1kg 粒

地域名	対象雑草：　エゾノサヤヌカグサ	処理時期（対象雑草の生育時期）	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意：

A-4 エゾノサヤヌカグサ
HSW-052 フロアブル

地域名	対象雑草：　エゾノサヤヌカグサ	処理時期（対象雑草の生育時期）	使用量 /10a
北海道	●	2L	500ml
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意：

A-4 エゾノサヤヌカグサ
NH-061-1kg 粒

地域名	対象雑草：　エゾノサヤヌカグサ	処理時期（対象雑草の生育時期）	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意：

A-4 エゾノサヤヌカグサ
TH-501 フロアブル

地域名	対象雑草：　エゾノサヤヌカグサ	処理時期（対象雑草の生育時期）	使用量 /10a
北海道	●	2L	500ml
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意：

A-4 エゾノサヤヌカグサ
TH-501-1kg 粒

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヌカグサ
TH-547(Z) ジャンボ

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	40g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヌカグサ
TH-547(Z) フロアブル

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	500ml
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヌカグサ
TH-547(Z)-1kg 粒

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 特殊雑草対象(オモダカ)

A-4 オモダカ
BCH-031-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始		1kg
東北	○	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				
※:オモダカ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する(東北,関東・東海)。 オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する(北海道,北陸,近畿・中国・四国)。				

A-4 オモダカ
BCH-032-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始		1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始		
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

BCH-033-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始	※	1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	○	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

BCH-052 フロアブル

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始		1kg
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

BCH-053 フロアブル

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始		500ml
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

BCH-065L フロアブル

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	始		
関東・東海	●	始		
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

DPX-84ND(L) 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				3kg
東北				
北陸	●	始		
関東・東海	○	始		
近・中・四	○	始		
九州	○	始		

使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

HOK-0605(L)-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

HOK-0605-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

HOK-0605S-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NBA-101SB ジャンボ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				30g×10コ
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-385SB 顆粒水和

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始		80g (散布液量500ml)
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-385SB-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-604 ジャンボ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	30g×10コ
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-604 プロプル

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	500ml
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-604-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-606 ジャンボ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	30g×10コ
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-617SB-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始～矢じり葉1L		1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四	●	広線形葉～矢じり葉1L		
九州	●	始～矢じり葉1L	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:

A-4 オモダカ

NC-618-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始～矢じり葉1L		1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四	●	始～矢じり葉1L		
九州	●	始～矢じり葉1L	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:

A-4 オモダカ

NH-071D ジャンボ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10コ
東北				
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NH-071D フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NH-071D-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SL-0601 ジャンボ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10コ
東北	●	矢じり葉抽出前	※	
北陸	●	矢じり葉抽出前		
関東・東海	●	矢じり葉抽出前	※	
近・中・四	●	矢じり葉抽出前		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SL-0601-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	矢じり葉抽出前	※	
北陸	●	矢じり葉抽出前		
関東・東海	●	矢じり葉抽出前	※	
近・中・四	●	矢じり葉抽出前		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SL-0602-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	矢じり葉抽出前	※	
北陸	○	矢じり葉抽出前		
関東・東海	○	矢じり葉抽出前	※	
近・中・四	○	矢じり葉抽出前		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SL-0613 顆粒水和

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1000g(散布液量100L)
東北	○	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)	※	
北陸	○	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈20cm以下)		
関東・東海	○	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)	※	
近・中・四	○	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SL-0701-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	矢じり葉抽出前		
関東・東海				
近・中・四	●	矢じり葉抽出前		
九州				

使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SST-403 ジャンボ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				40g×10コ
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SST-403 フロアブル

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SST-403-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SST-404 ジャンボ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		40g×10コ
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SW-043-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SW-051-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	広線形葉4L	※	
北陸	○	広線形葉4L		
関東・東海	○	広線形葉4L	※	
近・中・四	●	広線形葉4L		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
TH-501 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		500ml
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
TH-501-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
YH-650 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始		500ml
東北	●	始		
北陸	○	前		
関東・東海	○	前	※	
近・中・四	○	前		
九州	○	前	※	

※:オモダカ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸,関東・東海,近畿・中国・四国,九州)
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道)
オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北)

A-4 オモダカ
YH-650-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	○	前		
関東・東海	○	前	※	
近・中・四	○	前		
九州	○	前	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(キシュウスズメノヒエ)

A-4 キシュウスズメノヒエ
NC-612-1kg 粒

地域名	対象雑草: キシュウスズメノヒエ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四	●	3L	
九州			

使用上の注意:

A-4　特殊雑草対象(クログワイ)

A-4 クログワイ

BCH-031-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する(東北,九州)。
クログワイ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する(北陸,関東・東海,近畿・中国・四国)。

A-4 クログワイ

BCH-032-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始		
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

BCH-033-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始		
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

BCH-052 フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

BCH-053 フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

BCH-065L フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

DASH-001 SC

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				100ml (散布液量100L)
東北	○	草丈20cm以下	※	
北陸	○	草丈30cm以下		
関東・東海	○	草丈30cm以下	※	
近・中・四	○	草丈30cm以下		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。

A-4 クログワイ

DPX-84ND(L) 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				3kg
東北				
北陸	●	始		
関東・東海	○	始		
近・中・四	●	始		
九州	○	始		

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0605(L)-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0605S-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KPP-398(L) フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KUH-021-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する(東北,北陸,近畿・中国・四国,九州)。
クログワイ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する(関東・東海,近畿・中国・四国)。

A-4 クログワイ
KUH-073-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
MAT-159 ジャンボ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10コ
東北	○	前	※	
北陸	○	前		
関東・東海	○	前	※	
近・中・四	○	前		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NBA-101SB ジャンボ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				30g×10コ
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NC-385SB 顆粒水和

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				80g (散布液量500ml)
東北				
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NC-385SB-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NC-604 ジャンボ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				30g×10コ
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NC-604 フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NC-604-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NC-606 ジャンボ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				30g×10コ
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NC-617SB-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	草丈10cm		
関東・東海				
近・中・四	●	草丈10cm		
九州				

使用上の注意:

A-4 クログワイ
NC-618-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	草丈10cm		
関東・東海				
近・中・四	●	草丈10cm		
九州				

使用上の注意:

A-4 クログワイ
NH-071D ジャンボ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10コ
東北				
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NH-071D フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NH-071D-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SL-0401 ジャンボ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10コ
東北	●	草丈10cm		
北陸	●	草丈10cm		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州				

使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SL-0601 ジャンボ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10コ
東北	●	草丈10cm	※	
北陸	●	草丈10cm		
関東・東海	●	草丈10cm	※	
近・中・四	●	草丈10cm		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SL-0602-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	草丈10cm	※	
北陸	○	草丈10cm		
関東・東海	○	草丈10cm	※	
近・中・四	○	草丈10cm		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SL-0613 顆粒水和

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1000g (散布液量100L)
東北	○	生育期(草丈30cm以下)	※	
北陸	○	生育期(草丈30cm以下)		
関東・東海	○	生育期(草丈30cm以下)	※	
近・中・四	○	生育期(草丈30cm以下)		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SL-0701-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	草丈10cm		
関東・東海				
近・中・四	●	草丈10cm		
九州				
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 クログワイ
SST-403 ジャンボ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				40g×10ロ
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 クログワイ
SST-403 フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始		
九州				
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 クログワイ
SST-403-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始		
九州				
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 クログワイ
SST-404 ジャンボ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				40g×10ロ
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	
※:クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。(関東・東海,九州) クログワイ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(東北,北陸,近畿・中国・四国)				

A-4 クログワイ
SW-043-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。				

A-4 クログワイ
SW-051-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	草丈20cm	※	
北陸	○	草丈20cm	※	
関東・東海	○	草丈20cm	※	
近・中・四	●	草丈20cm	※	
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する(東北,北陸)。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する(関東・東海)。
クログワイ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(近畿・中国・四国)

A-4 クログワイ
SW-063-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	草丈15cm		
北陸	○	草丈30cm		
関東・東海	●	草丈20cm		
近・中・四	○	草丈30cm		
九州	○	草丈30cm	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
TH-001 フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	○	前	※	
北陸				
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
TH-501 フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州				

使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
YH-650 フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸				
関東・東海	●	前	※	
近・中・四	●	前		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4　特殊雑草対象(コウキヤガラ)

A-4 コウキヤガラ
DASH-001 SC

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			100ml (散布水量100L)
東北			
北陸			
関東・東海	●	草丈20cm	
近・中・四			
九州			

使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
NC-612-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	草丈30cm	
北陸			
関東・東海	○	草丈30cm	
近・中・四	●	草丈30cm	
九州	○	草丈30cm	
使用上の注意:			

A-4 コウキヤガラ
SL-0401 ジャンボ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			50g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海	●	草丈10cm	
近・中・四			
九州			
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SL-0401-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈10cm	
北陸			
関東・東海	○	草丈10cm	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SL-0401-1kg(1.5kg処理) 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1.5kg
東北	●	草丈15cm	
北陸			
関東・東海	○	草丈15cm	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SL-0601 ジャンボ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			50g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SL-0601-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SL-0602-1kg 粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	始	
北陸			
関東・東海	○	始～草丈20cm	
近・中・四			
九州	○	始～草丈20cm	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SL-0604-1kg 粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SL-0701-1kg 粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SST-403 ジャンボ

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			40g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SST-403 フロアブル

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SST-403-1kg 粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SST-404 ジャンボ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			40g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SST-404 フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SW-051-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈15cm	
北陸			
関東・東海	●	草丈15cm	
近・中・四			
九州			
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
TH-001 フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	○	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
TH-122-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
TH-224 フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
TH-501 フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	始	
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
TH-547(Z) フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
TH-547(Z)-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
YH-650 フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	前	
北陸			
関東・東海	●	前	
近・中・四			
九州			
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 特殊雑草対象(シズイ)

A-4 シズイ
KUH-041-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
SST-404-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
SW-051-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	10cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
TH-547(Z)-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
TH-501 フロアブル

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 特殊雑草対象(ミズアオイ)

A-4 ミズアオイ
SYJ-167-1kg 粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	1L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
TH-501 フロアブル

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	1L	500ml
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
TH-501-1kg 粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	1L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

B　直播栽培

入水前

B

NC-331 水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
関東・東海～九州		○	○前		○前	○前			○発生期	○再生前～始			入水前10～2日(イネ2L以降，雑草草丈30cm以下)	90～180g(散布液量100L)		○

乾田直播乾田条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

B

SL-0612 顆粒水和(乾直入水前)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～近・中・四	○5											~~クグ類：3L，~~ ~~クサネム：4L，~~ ~~アゼガヤセンダングサ：1L~~	イネ2L以降，ノビエ5Lまで(入水前)	30g(散布液量100L)		○

乾田直播　乾田条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

入水後（移植A-2区分で検討している剤）

B

SW-751 粒(少量散布)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～~~近・中・四~~ ~~九州~~	○1	○	○始										+0～ノビエ1L	1.5kg	●	○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　後処理剤との体系で使用する。

B

SW-751 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～関東・東海	○1	○	○始	○2		○2							~~+0～3～+7(ノビエ1L)~~	3kg ~~(但し4kgは播種前のみ)~~	●	○
近・中・四～九州	○1.5	○	○始			○2							~~+0～3～+7(ノビエ1.5L)~~ ~~(砂壌土はノビエ1L)~~			

湛水直播
湛水条件で使用する
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　後処理剤との組み合わせで使用する

入水後（移植A-1区分で検討している剤）

B

NBA-101SB ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期				イネ1L～ノビエ2.5L	30g×10コ		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B

NC-385SB 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
~~東北～九州~~ ~~全域~~	○2.5	○	○2		○2	○2							イネ1L～ノビエ2.5L	80g(散布液量500ml)	○	○

湛水条件で使用する。
顆粒のまま水口処理が可能。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
NC-385SB-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州全域	○2.5	○	○2		○始	○始				○再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg	○	○

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
NH-051(H)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～東北	●2.5	●	●2			●始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
NH-302 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●2.5	●	●2										イネ1.5L～ノビエ2.5L	500ml		●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
SB-556 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州全域	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期				イネ1L～ノビエ2.5L (北海道はノビエ2Lまで)	500ml	○	○

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
SL-0601-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	●4	●	●3										イネ1L～ノビエ4L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
SST-404 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	500ml	●	●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
SST-404-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～近・中・四	●2.5	●	●2							●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
SW-043-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
~~東北～九州~~ 全域	○2.5	○	○2		○2	○始							イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

入水後（移植A-3区分で検討している剤）

B
BAS-3510(Na) 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域		●	●5		●5								雑草生育期（イネ3L以降，入水50日後まで）	3kg		●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する
落水もしくは浅水で散布し，2日間以上入水しない。

B
DASH-001 SC

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○5	○	○4	○4	○4	○4			○生育期	○生育期			イネ3L6L以降，ノビエ5Lまで	100ml 散布液量100L）	●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する
落水もしくは浅水で散布し，2日間以上入水しない。

B
DEH-112 乳(EW)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○5												~~ノビエ3L～5L~~ 播種後～ノビエ5L（ノビエ生育期） ~~（関東・東海～九州の乾直はノビエ3L～5L）~~	100ml（散布水量2570～100L 展着剤加用）	○ ~~（九州のみ）~~	○

使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する。
使用直前に希釈する。

B
KUH-031 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○4	○	○4										イネ3L以降，ノビエ4Lまで	3kg	●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する
ごく浅水で散布し，2日間以上入水しない。
散布後に降雨等で湛水されると効果が低下することがある。

B
NC-612-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●3.5	●	●3										イネ3L以降，ノビエ3.5Lまで	3kg		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する

B
SL-0401-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○4		○3			○2							イネ3L以降，ノビエ4Lまで(九州はノビエ3Lまで)	1kg	●	○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する

B
SL-0401-1kg(1.5kg処理) 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○4-5		○4			○3							イネ3L以降，ノビエ~~4L~~5Lまで	1.5kg	●	○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する

使用基準の更新

以下の剤について、使用基準を策定した。

1. 過去の使用基準を元に現行の様式による使用基準を策定。
2. 過去の使用基準に特殊雑草対象の本年度判定結果を加え、使用基準を策定。

A　移植栽培

A-1　一発処理

A-1

HOK-0301 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期			エゾノサヤヌカグサ:2L	+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※		○発生期						○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○始※		○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期		○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期						○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HSW-051-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始	○発生期			ミズアオイ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L エゾノサヤヌカグサ:2L	+3～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HSW-052 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始	○発生期			ミズアオイ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L エゾノサヤヌカグサ:2L	+3～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-021-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:2L	+3～ノビエ3L(砂壌土は+7～)	1kg	○	○
東北	○3	○	○3	○始	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始 シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始 SU抵抗性コナギ:2L			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組合せで使用する(東北,近畿・中国・四国, 九州)
クログワイ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組合せで使用する(関東・東海,近畿・中国・四国)

A-1
NBA-101SB ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ2.5L	30g×10ロ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組合せで使用する。

A-1
NC-385SB 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2		○始	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L ミズアオイ:2L	+0～ノビエ2.5L	80g(散布液量500ml)	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

顆粒のまま水口処理が可能
田植同時散布可能
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組合せで使用する。

A-1
NC-604 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L	+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	●始※	○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
NC-621-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L	1kg		○
東北	○3	○	○2	○2	○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始						○
近・中・四	○3	○	○3		○2 3	○2			○発生期	○再生前～始		キシュウスズメノヒエ:3L			○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SST-403 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
東北	○1.5	○	○始	○前	○始	○始	○始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	○始		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SST-403-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	○始		○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
TH-001 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノギヤツヌカグギ:2L ミズアオイ:1L	+20～+30 (ノビエ2.5Lまで)	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2	○前※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:茎丈3cm SU抵抗性ホタルイ:2L コウキヤガラ:始	+15～+25(ノビエ2.5Lまで)		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始 SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2	●始※		○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
水口処理可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
TH-122-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm,コウキヤガラ:始			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	○始※	○始※	○発生期		○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始	+0～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始	+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
TH-224 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm,コウキヤガラ:始			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始	+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○*	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始	+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:浅植え, 植付け精度不良等で薬害を生ずることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
TH-547(Z) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L	500ml		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm,コウキヤガラ:始	+5～ノビエ2.5L		○	○
北陸	○2.5	○	○始		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始	+5～ノビエ3L		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L			○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
NC-612-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3.5	○	○4	○3		○4		○生育期(矢尻葉3L まで)※	○発生期	○再生前～始	○始		+15～+35(ノビエ3.5L まで)	1kg	○	○
東北	○3.5	○	○3	○3	○3	○2	○生育期(草丈30cm以下)中	○生育期(矢尻葉3L まで)※	○発生期	○再生前～始	○始	コウキヤガラ:草丈30cm,シズイ:生育期(草丈30cm以下)			○	○
北陸	○3.5	○	○3		○3	○3	○生育期(草丈30cm以下)中	○生育期(矢尻葉3L まで)※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3.5	○	○3		○3	○3	○生育期(草丈30cm以下)中	○生育期(矢尻葉3L まで)※	○発生期	○再生前～始	○始	イボクサ:生育期(草丈20cm以下),広葉性コナギ:3L,広葉性ミゼハイ:3L,ウリカワ:草丈30cm,ヒルムシロ:草丈30cm			○	○
近・中・四	○3.5	○	○3		○3	○3	○生育期(草丈30cm以下)中	○生育期(矢尻葉3L まで)※	○発生期	○再生前～始	○始	クサネム:草丈20cm,コウキヤガラ:草丈30cm			○	○
九州	○3.5	○	○4		○4	○4	○生育期(草丈30cm以下)中	○生育期(矢尻葉3L まで)※	○発生期	○再生前～始	○始	コウキヤガラ:草丈30cm			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネ4L未満では、薬害を生じることがある(関東・東海)
前処理剤との組み合わせで使用する。

水稲関係除草剤使用基準の表示について

1．過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。
(本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む)
草種欄の数字、字句で草種ごとの葉齢を示した。
[例:○始（発生始)、○2（2葉期まで)]
作期に限定がある場合は、地域名の後に適用作期を普通期:(普), 早期:(早)と記した。
使用上の注意は別途一覧表に添って文章で備考欄に記載した。
2．本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、
処理時期及び使用量を記載した。
3．過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合、

作期の拡大	:	作期の限定がなくなった場合、作期の記載を取消線で消した。(例: (~~普~~))
草種の拡大	:	拡大された草種に●を印した。
葉齢の拡大	:	拡大された葉齢に、アンダーラインを付した。(例: ○2.5)
処理時期,使用量の拡大	:	拡大部分にアンダーラインを付した。(例: +3～ﾉﾋﾟｴ2L, 100～150ml/10a)
土壌条件の拡大	:	拡大された土壌に●を印した。

植物こぼれ話

－刺がある・ハリアサガオ－

廣田伸七

全国農村教育教会が明治以降に外国から入った帰化植物630余種を収録した「日本帰化植物写真図鑑」を刊行したのが平成13年(2001年)7月である。この図鑑では一過性のものや特殊なものは除いて，当時問題になっていた主要種630余種を取りあげたので殆どの帰化植物を調べることができた。それから9年が経過した。この間，年毎に新しい帰化植物が増え，平成22年(2010年)現在では約1,300種もの帰化植物が記録されている。こうしたことから最近では，平成13年発行の「日本帰化植物写真図鑑」では分からない帰化植物が多くなって困っている。早く続編を発行してくれという要望が多く寄せられるようになった。この要望に応えて続編として，新しい帰化植物約480種を収録した「日本帰化植物写真図鑑・第2巻」を平成22年夏までに発行予定で目下編集中である。

今回の第2巻には将来問題になりそうな種もかなりある反面，面白い植物も多く含まれている。そのうちの一つハリアサガオを紹介する。

ハリアサガオ（*Ipomoea turbinata* Lag.）〈ヒルガオ科〉熱帯アメリカ原産の一年生草本。茎は分岐して長さ1m以上になり，葉は長い葉柄があり卵形～心臓形で全縁。夏から秋にかけて直径5㎝前後で淡紅紫色のアサガオ形の花を別名アカバナヨルガオと呼ばれるように夜間に開くという変わりものである。しかしもっと変わっているのは，茎や葉柄にバラの刺に似た針状の突起ができることである。写真で見ると如何にも触ると痛そうだが，実は軟らかくて触っても痛くないという愛嬌もある変わったアサガオの仲間である。本来は観賞用として渡来したのが逸出して野生化している。

▲茎や葉柄に刺がある

▲花は直径5㎝位で，夜開く

財団法人　日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話　(03) 3832-4188 (代)
FAX (03) 3833-1807
http://www.japr.or.jp/

編集人　日本植物調節剤研究協会　会長　小川　奎
発行人　植調編集印刷事務所　元村廣司

発行所　東京都台東区台東1－26－6　全国農村教育協会
植調編集印刷事務所
電話 (03) 3833－1821 (代)
FAX (03) 3833－1665

平成22年2月発行定価525円(本体500円＋消費税25円)
植調第43巻第11号　(送料270円)
印刷所　㈲ネットワン

難防除雑草対策の新製品

イッテツ® フロアブル 1キロ粒剤 ジャンボ

期待の新製品

SU抵抗性雑草対応・田植同時処理にも対応 ドニチ®S1キロ粒剤 / ヨシキタ® 1キロ粒剤 フロアブル

殺虫成分入り（スクミリンゴガイ食害防止） ショウリョク® ジャンボ

2成分のジャンボ剤 ゴヨウダ® ジャンボ

大好評の既存剤

ポ～ンと手軽に クラッシュ® EX ジャンボ

安定した効果の初中期一発剤 ドニチ®1キロ粒剤

アピロイーグル® フロアブル

アワード® フロアブル

キックバイ®1キロ粒剤

草闘力® ふろあぶる

クラッシュ®1キロ粒剤

シェリフ®1キロ粒剤

シーゼット® フロアブル

バトル® 粒剤

ロンゲット® フロアブル

大地のめぐみ、まっすぐ人へ SCC GROUP

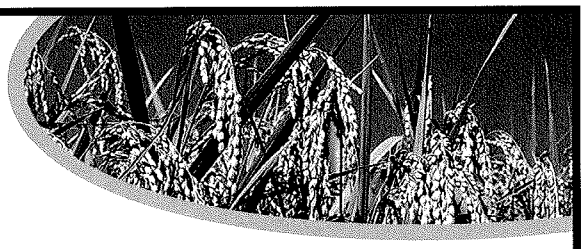
住友化学

住友化学株式会社

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト i-農力 http://www.i-nouryoku.com

DUPONT® The miracles of science™

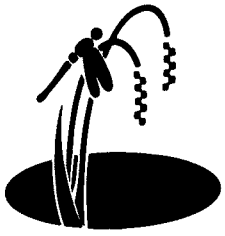


米国生まれ、米の国育ち、DPX-84

1987年に上市したベンスルフロンメチル（DPX-84）は、

- ●抵抗性雑草対策場面でも
- ●田植え同時でも
- ●直播栽培でも

多様な剤型で、これからも日本の水田除草をお手伝いします。



上記マークがついている除草剤にはDPX-84が含まれています。

Ⓡは米国デュポン社の登録商標です。

デュポン株式会社 農業製品事業部 〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1

豆つぶ®除草剤
パットフルエース®
250グラム・L250グラム
水稲用初・中期一発処理剤

実物大写真（製剤）

豆まき感覚カンタン除草
しつこい草にも
エースの効き目!

大型圃場では動力散布機をご利用ください!

自然に学び 自然を守る
クミカ

®はクミアイ化学工業(株)の登録商標です。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

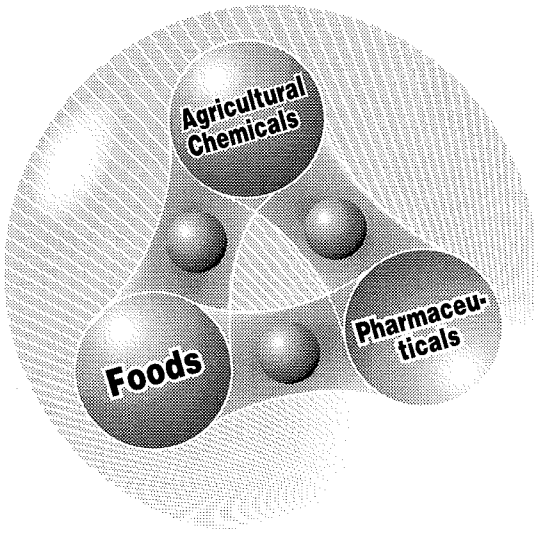
JAグループ
農協 全農 全国本部・県本部 経済連

クミアイ化学工業株式会社
本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5131

MY-100

いのちの輝きを見つめる
Meiji

私たちは、夢と楽しさ、いのちの輝きを大切にし、
世界の人々の心豊かなくらしに、貢献します。



植物成長調整剤
ジャスモメート
液剤

明治製菓株式会社
104-8002 東京都中央区京橋2-4-16
http://www.meiji.co.jp/nouyaku

植物防疫 第四十三巻第十二号（通巻第五百二号）
平成三十年二月発行